

あいちゃん●ネット

ひかり

セットアップガイド



いはらコミュニティー・ネットワーク・テレビ
<http://www.icntv.ne.jp/>

■はじめにご確認ください。

お手元に下記の書類があることをご確認ください。

「あいChan-NETひかりセットアップガイド」・・・この冊子です。

「あいChan-NET 登録完了のお知らせ」・・・お客様のメールに関する設定情報が書かれています。

■いちほらケーブルテレビからのお知らせについて

メンテナンスによるサービス停止のお知らせなど、ホームページや電子メールでご案内することがございますので、定期的にご覧いただけますようお願い致します。

いちほらケーブルテレビホームページ：<http://www.icntv.ne.jp/>

■お問い合わせ先について

▼接続設定に関するお問い合わせは・・・

あいChan-NETサポートセンター：0436-24-9407

月～金(祝祭日を除く)10:00～12:00、13:00～17:00

▼料金、請求に関するお問い合わせは・・・

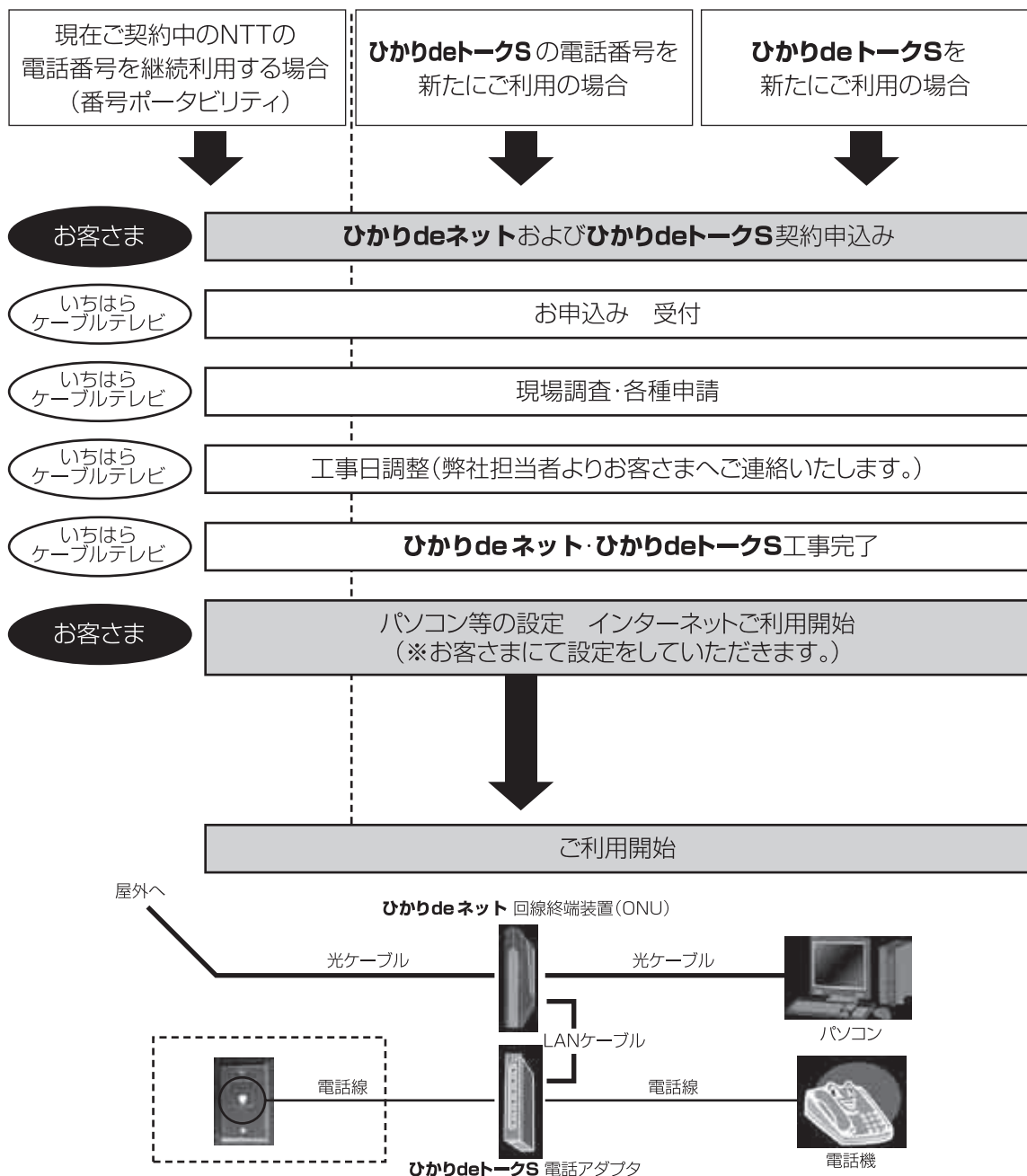
いちほらケーブルテレビ事務局：0436-24-0009

月～金(祝祭日を除く)10:00～12:00、13:00～17:00

目次

お申込みからご利用開始までの流れ	2
お貸出品の確認	3
標準工事イメージ図(戸建)	4
ひかりdeトークS電話接続イメージ例	5
接続配線図(基本)	7
回線終端装置(ONU)ランプの名称と機能	8
ご利用に際して(1) 設置の準備	9
(2) 接続	10
(3) ご注意	11
(4) 確認	11
故障かなと思ったら	12
ひかりdeトークSの機器の接続方法とインターネット接続ができない場合	13
ひかりdeネットの機器の接続方法とインターネット接続ができない場合	14
準備と設定作業の流れ	15
各種アプリケーションソフトの設定方法	16
Windowsの場合	
1)ファイヤーウォールの設定方法	16
2)ブラウザの設定	22
3)電子メールの設定方法	27
Macintoshの場合	
1)Mac OS X TCP/IPの設定	35
2)Mac OS X Mailの設定	39
3)Mailの設定確認方法	41
ひかりdeトークS 電話アダプタ ランプの名称と機能	43
ひかりdeトークS	
ひかりdeトークSの接続音について	44
ひかりdeトークS基本サービス	45
国際電話のかけ方/通話相手先の番号通知 /特定の相手のみ電話をかけることが出来ない場合	46
ひかりdeトークS発信可否電話番号一覧	47
ひかりdeトークS付加サービス	50
ひかりdeトークSご利用時の注意事項	56
ひかりdeネットインターネットサービス重要事項	58

お申込みからご利用開始までの流れ



【注意事項】

- ※1 NTTの電話番号の切替工事完了までの期間は、現在ご利用中の電話回線へ再度接続してください。
- ※2 番号ポータビリティをご利用の場合、NTT加入電話は自動的に休止となります。
- ※3 ACR機能付電話機をお使いの場合は、お客さまにて電話機のACR機能の停止やACRアダプタの取り外しを行ってください。
なお、マイラインは自動的に解除されます。
- ※記載の内容は、ひかりdeトークS、ひかりdeネットの一般的な流れとなります。
- ※期間は標準的な目安ですので、若干前後する場合があります。予めご了承ください。

お貸出品の確認

サービスのご提供にあたり、弊社より次の品をお貸出いたします。
お使いになる前に、すべてそろっているか確認してください。
万が一不足している場合がありますら、弊社までお問合せください。

	品 名	数量
通信用	回線終端装置本体(ONU)	1台
	回線終端装置用ACアダプタ	1個
	回線終端装置用縦置きステイ	1個
	回線終端装置用滑り止めゴム	2個
	回線終端装置用取扱説明書	1部
電話用	ひかりdeトークS 電話アダプタ本体	1台
	ひかりdeトークS 電話本体用ACアダプタ	1個
	LANケーブル(ストレート・2.0m)※1	1本
	電話線ケーブル(2.0m)	1本

※1…[回線終端装置本体(ONU)]と[ひかりdeトークS本体]接続用となります。[回線終端装置本体(ONU)]からパソコンまで接続するLANケーブルにつきましては、お客さまにてご用意いただけますよう、お願い申し上げます。



★注意事項★

お貸出品はご解約時に一式ご返却していただきます。
ご返却いただけない場合は、物品相当額のご請求が発生する場合がございます。

お客さまにてご準備いただくもの

お客様にご用意いただくもの

ひかりdeネット・CATVインターネット

パソコン

パソコンの推奨スペックにつきましては、下記表※をご覧ください。



LANケーブル

LANケーブル(1本)ストレートタイプ(RJ-45)カテゴリ5以上をご用意ください。



ひかりdeトーク(S)

電話機

一般家庭電話をご用意ください。現在、お使いの電話機でも構いません。(一部ご利用いただけない機種があります。)



モジュラーケーブル

現在、お使いのモジュラーケーブルでも構いませんが長いモジュラーケーブル(1本/RJ-11)が必要な場合は別途お客様でご用意ください。



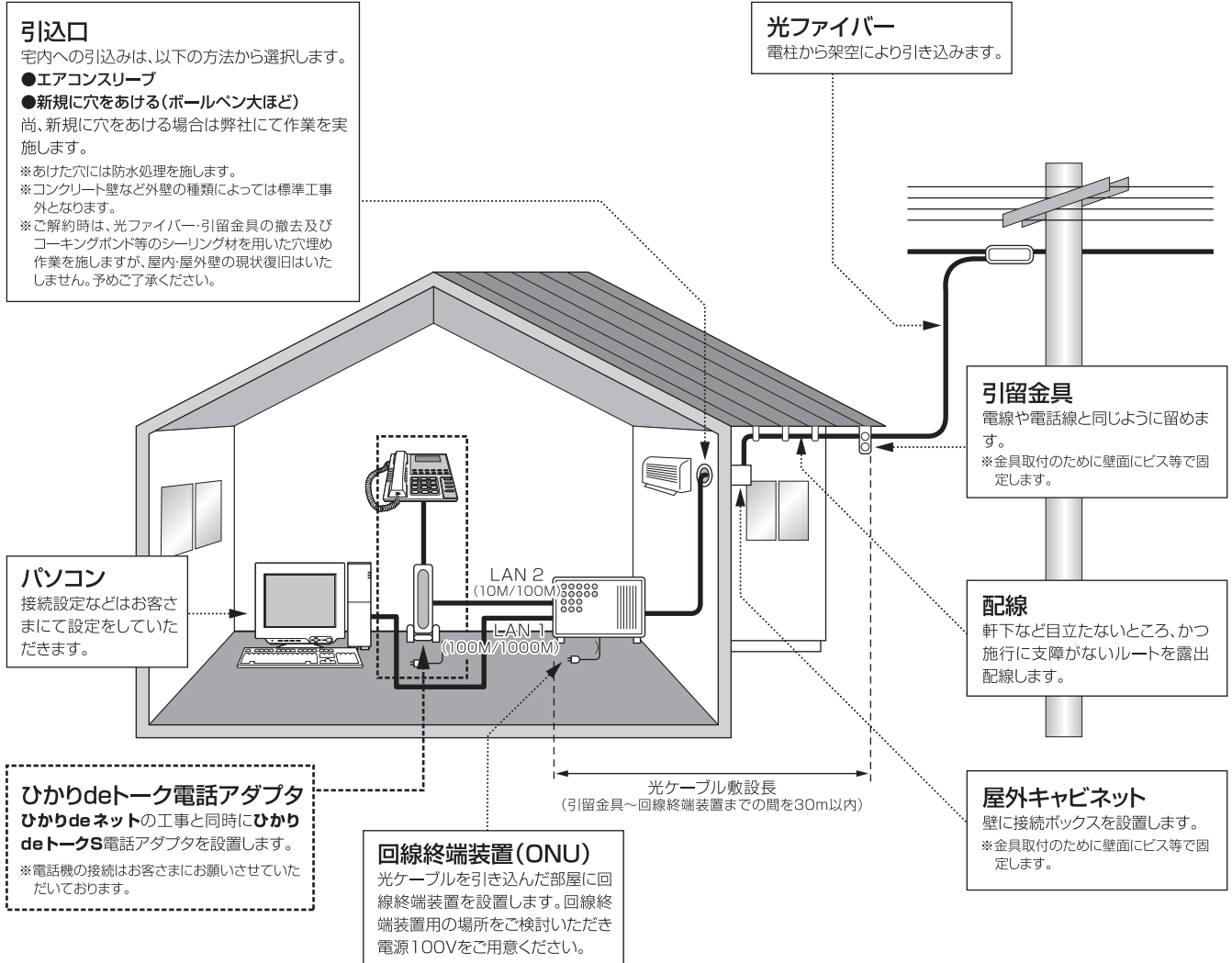
※パソコンの推奨スペック

OS	Windows Vista	Mac OS X(10.4)以上
	Windows XP SP2以上	
Webブラウザ	Microsoft Internet Explorer 6.0 以上	Safari2.0 以上
メールソフト	Windows Mail 6.0	Mail 1.2 以上
	Microsoft Outlook Express 6.0	
	Microsoft Office Outlook 2000 以上	
	Windows Live Mail 2009 以上	

【注意事項】

●パソコンには100BASE-TXに対応したLANアダプタが必要です。LANアダプタはONUとの接続に必要です。LANアダプタが内蔵かどうか、判断が難しい場合には、パソコンのメーカーにお問合せください。また、10BASE-T規格のLANアダプタでも接続はできますが、十分な通信速度をご活用いただけません。
●パソコンの機種によってご利用可能なLANアダプタは異なります。規格や種類によってはご利用できないLANアダプタもありますので、必ずご利用のパソコンに対応したLANアダプタをご確認ください。LANアダプタの詳細につきましては、パソコンに付属の取扱説明書などをご覧いただくか、パソコンメーカーやLANアダプタのメーカーにお問合せください。

標準工事イメージ図(戸建)



標準工事に含まれないもの

- 引込用光ケーブルの埋設
- 引込用の柱の新設
- 引入口とは別の部屋への配線(2箇所目以降の新規穴あけを含む)
- 宅内への光ケーブルの隠ぺい配線
- 宅内のLAN配線・電話配線
- パソコンの設置・セットアップなど

これらの工事については、お客さまにて工事を行っていただきます。

ひかりdeトークS電話接続イメージ例

- ※LANケーブル(2.0m) 1本と電話回線ケーブル(2.0m) 1本は、**ひかりdeトークS** 電話アダプタに付属しています。
- ※電話機(親機・子機)、パソコンは、お客さまにてご用意ください。
- ※**ひかりdeトークS** 電話アダプタと電話機を別室で使用される場合等、宅内の電話配線工事はお客さまにて行ってください。

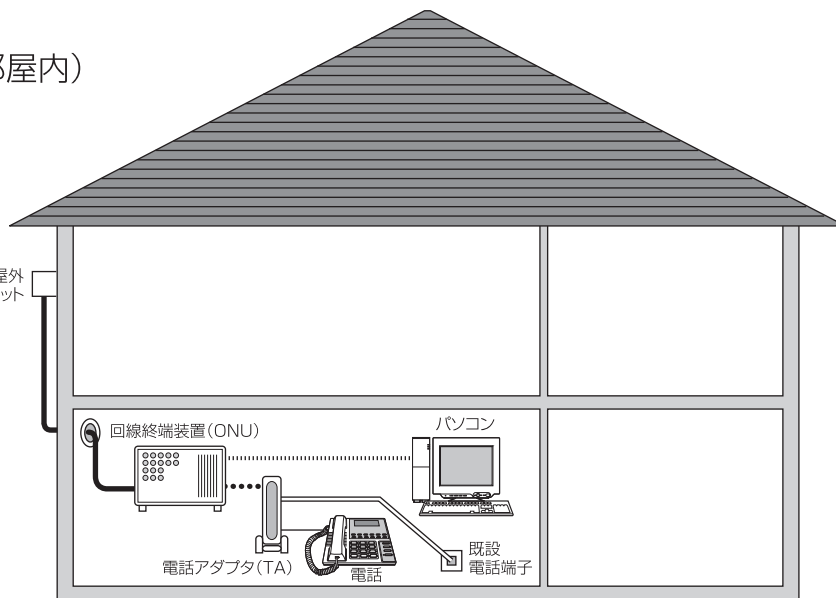
1 標準配置図 (パソコン・電話同一部屋内)

- 屋内光ファイバーケーブル
- 標準LANケーブル(2.0m)
- LANケーブル
(お客さま用意接続)
- 標準電話線(2.0m)
- ==== 既設電話線
(仮配線)

工事完了後より、番号ポータビリティをご利用のお客さまかつIP電話をすぐにご利用いただくお客さまにつきましては、**ひかりdeトークS** 電話アダプタの電話回線ポートとモジュラージャックを図のように配線していただくことで、IP電話・一般加入電話をご利用いただくことができます。なお、一般加入電話で発信をされる場合には**ひかりdeトークS** 電話アダプタの電源コンセントを抜いてからご利用ください。

ひかりdeトークS 電話アダプタの電源を切らずに発信をした場合には、IP電話による発信となります。着信の場合は発信時の処理は不要です。ご注意ください。

新規に一般電話番号を取得されるお客さま・番号ポータビリティお申込み5日以降のお客さまにつきましては、こちらの配線は不要です。



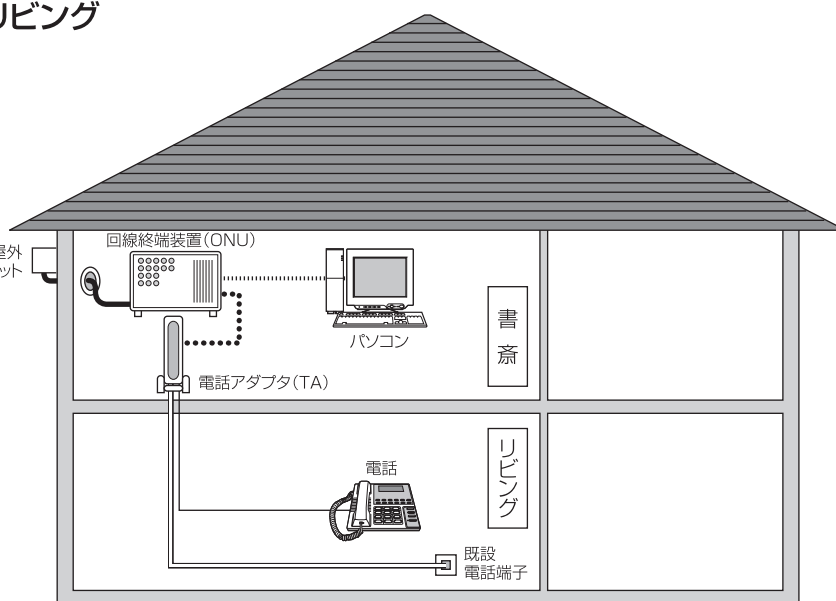
2-1 パソコン書斎—電話リビング (電話配線延長)

- 屋内光ファイバーケーブル
- 標準LANケーブル(2.0m)
- LANケーブル
(お客さま用意接続)
- 電話線
(お客さま負担別途工事)
- ==== 既設電話線
(仮配線)

工事完了後より、番号ポータビリティをご利用のお客さまかつIP電話をすぐにご利用いただくお客さまにつきましては、**ひかりdeトークS** 電話アダプタの電話回線ポートとモジュラージャックを図のように配線していただくことで、IP電話・一般加入電話をご利用いただくことができます。なお、一般加入電話で発信をされる場合には**ひかりdeトークS** 電話アダプタの電源コンセントを抜いてからご利用ください。

ひかりdeトークS 電話アダプタの電源を切らずに発信をした場合には、IP電話による発信となります。着信の場合は発信時の処理は不要です。ご注意ください。

新規に一般電話番号を取得されるお客さま・番号ポータビリティお申込み5日以降のお客さまにつきましては、こちらの配線は不要です。



2-2 パソコン書斎—電話リビング (LANケーブル延長)

—— 屋内光ファイバーケーブル

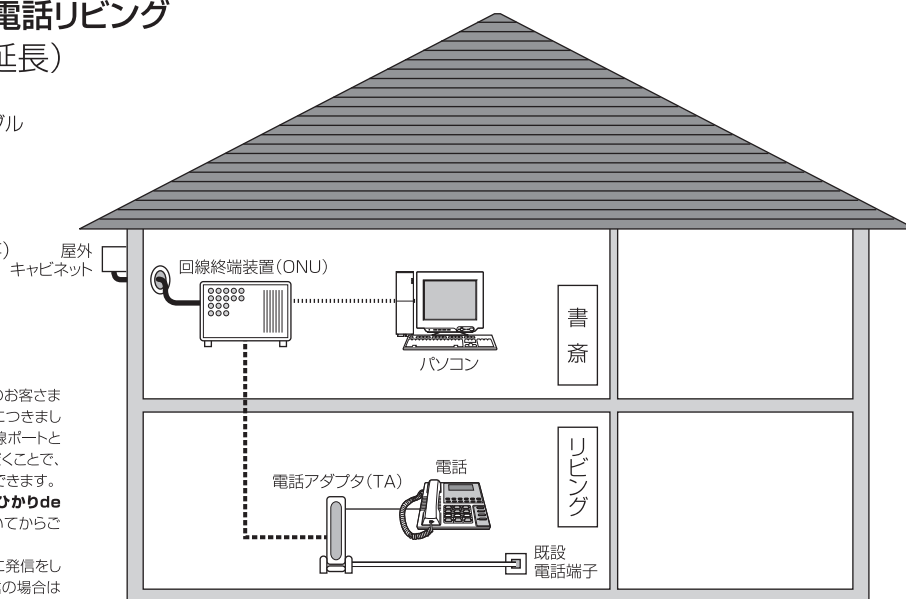
..... LANケーブル
(お客さま用意接続)

----- LANケーブル
(お客さま負担別途工事)

—— 標準電話線 (2.0m)

===== 既設電話線
(仮配線)

工事完了後より、番号ポータビリティをご利用のお客さまかつIP電話をすぐにご利用いただくお客さまにつきましては、**ひかりdeトークS**電話アダプタの電話回線ポートとモジュラージャックを図のように配線していただくことで、IP電話・一般加入電話をご利用いただくことができます。なお、一般加入電話で発信をされる場合には**ひかりdeトークS**電話アダプタの電源コンセントを抜いてからご利用ください。
ひかりdeトークS電話アダプタの電源を切らずに発信をした場合には、IP電話による発信となります。着信の場合は発信時の処理は不要です。ご注意ください。
新規に一般電話番号を取得されるお客さま・番号ポータビリティお申込み5日以降のお客さまにつきましては、こちらの配線は不要です。



2-3 パソコン書斎—電話リビング (無線LAN)

—— 屋内光ファイバーケーブル

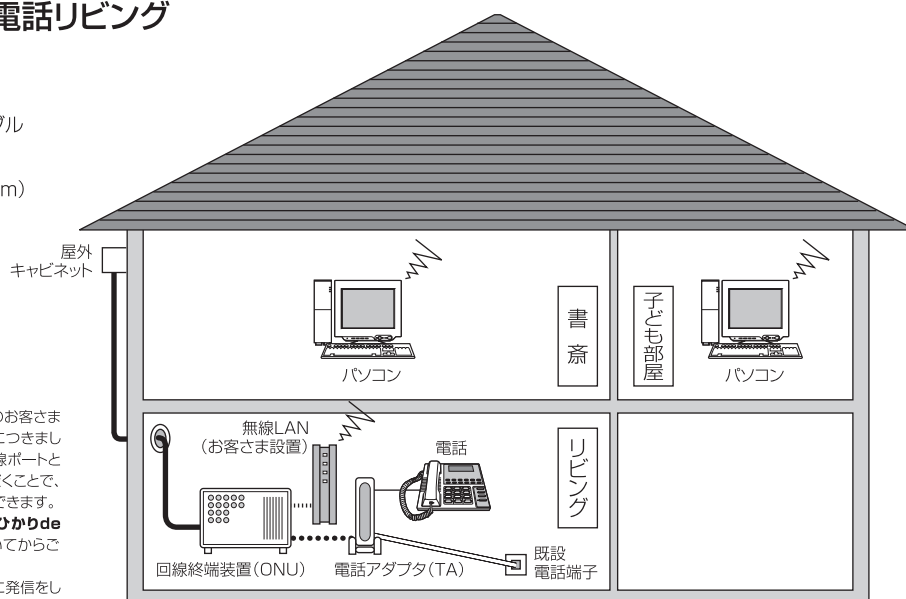
..... 標準LANケーブル (2.0m)

..... LANケーブル
(お客さま用意接続)

—— 標準電話線 (2.0m)

===== 既設電話線
(仮配線)

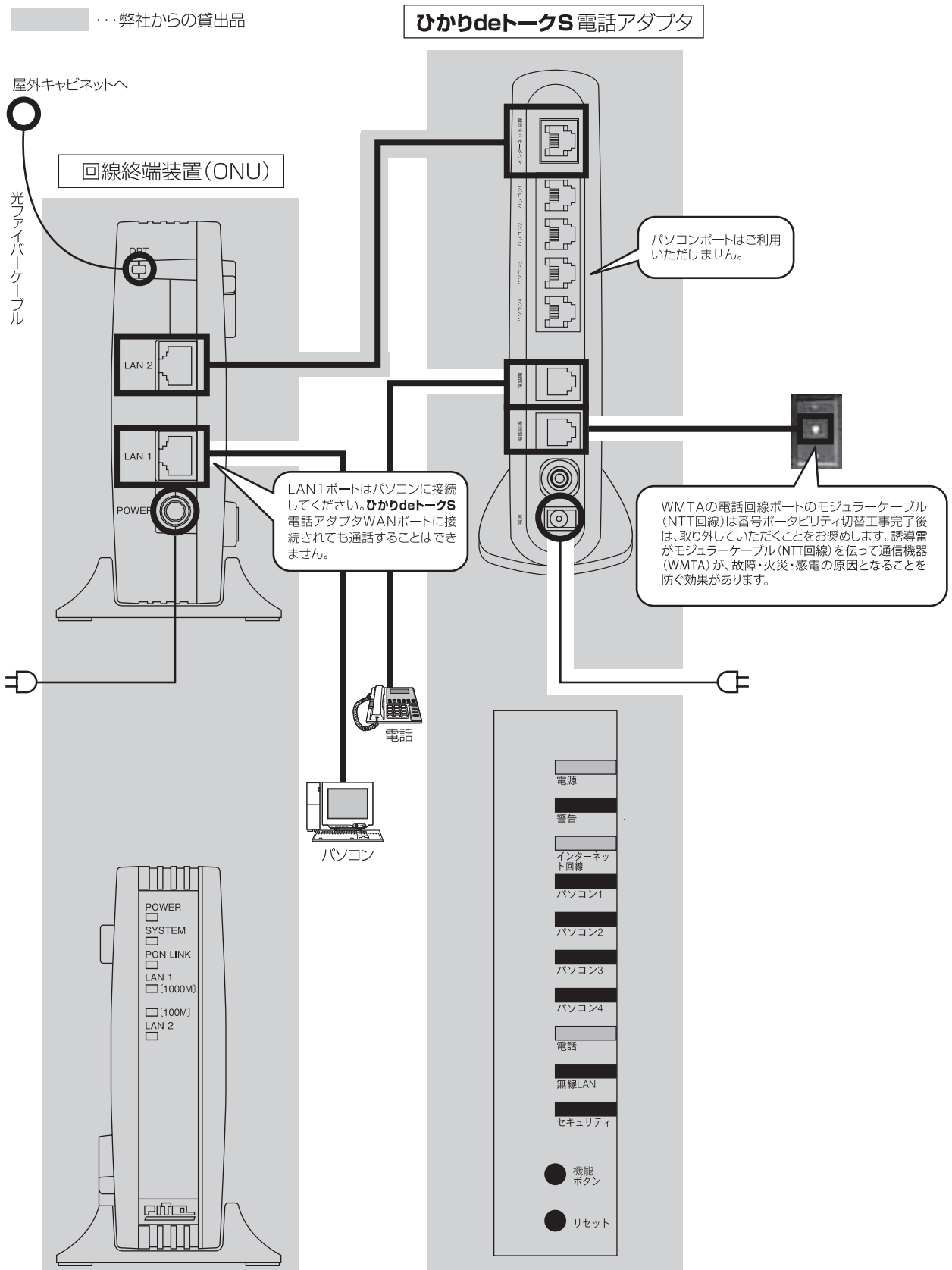
工事完了後より、番号ポータビリティをご利用のお客さまかつIP電話をすぐにご利用いただくお客さまにつきましては、**ひかりdeトークS**電話アダプタの電話回線ポートとモジュラージャックを図のように配線していただくことで、IP電話・一般加入電話をご利用いただくことができます。なお、一般加入電話で発信をされる場合には**ひかりdeトークS**電話アダプタの電源コンセントを抜いてからご利用ください。
ひかりdeトークS電話アダプタの電源を切らずに発信をした場合には、IP電話による発信となります。着信の場合は発信時の処理は不要です。ご注意ください。
新規に一般電話番号を取得されるお客さま・番号ポータビリティお申込み5日以降のお客さまにつきましては、こちらの配線は不要です。



付加サービスの内容及び料金・ひかりdeトークS電話接続可否番号一覧
及び料金については、弊社ホームページをご参照ください。

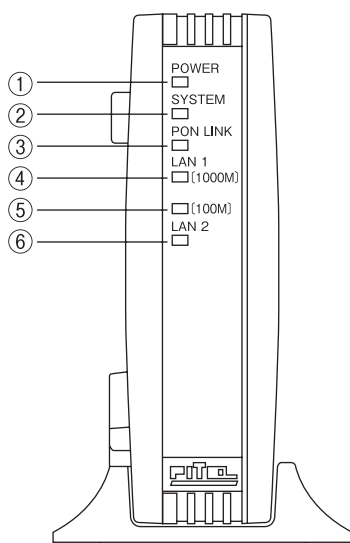
<http://www.icntv.ne.jp/>

接続配線図(基本)



回線終端装置(ONU)ランプの名称と機能

FITEL wave AG20E(-L) (FITEL wave AG1600シリーズ用ONU装置)
古河電気工業株式会社



ランプ名称	表示		状態説明	備考
	色	状態		
①POWER	緑	点灯	正常運用状態(電源ON)	
②SYSTEM	緑	点灯	正常運用状態	
③PON LINK	緑	点灯	正常運用状態	
④LAN1(1000M)	緑	点滅	LAN1が1000Mにてデータ通信中	※1
⑤LAN1(100M)	緑	点滅	LAN1が100Mにてデータ通信中	※1
⑥LAN2	緑	点灯	正常運用状態	※2
	緑	点滅	ひかりdeトーク(S)通話中	※2

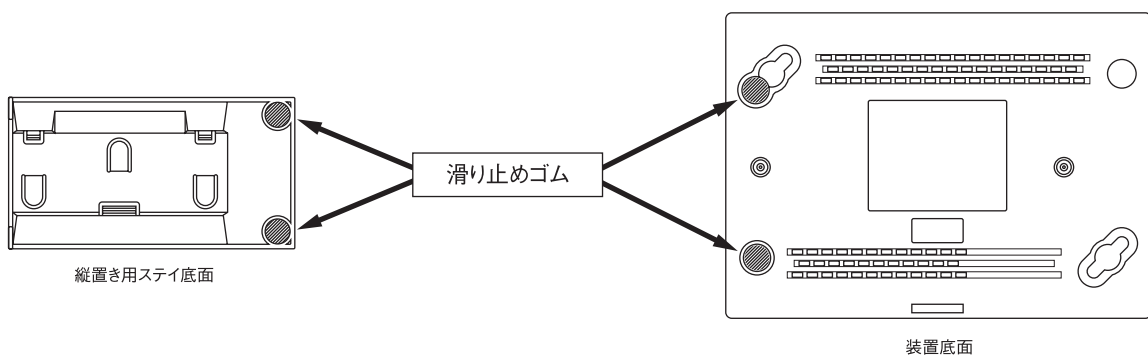
※1・・・PC側が1000Mの場合には[LAN1(1000M)]が点滅し、[LAN1(100M)]が消灯となります。
PC側が100Mの場合には[LAN1(100M)]が点滅し、[LAN1(1000M)]が消灯となります。
※2・・・ひかりdeトークSご利用のお客様のみ点灯します。

ご利用に際して

(1) 設置の準備

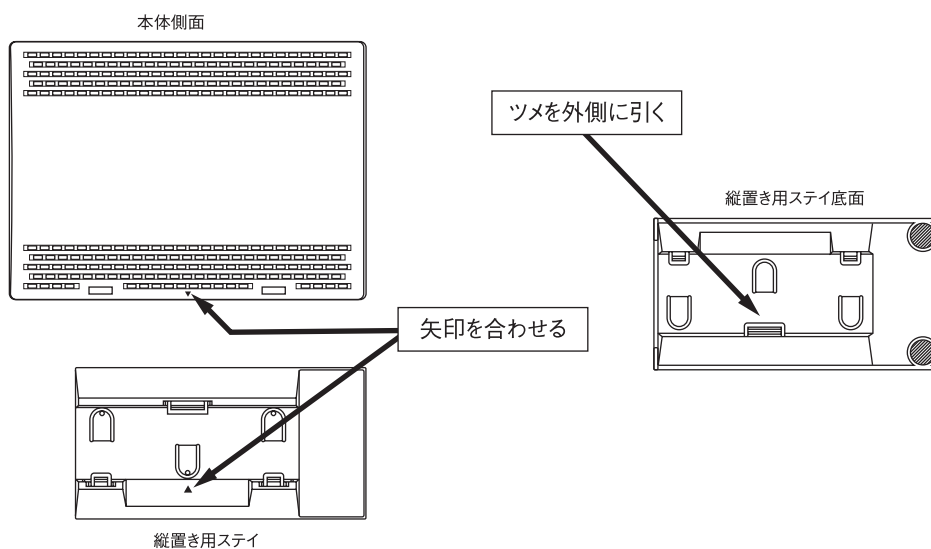
滑り止めゴムを貼り付けてください。

- 縦置きの場合：縦置き用ステイ底面の指定位置に貼り付けてください。
- 平置きの場合：装置底面の指定位置に貼り付けてください。



装置を縦置きで設置する場合、
装置本体に縦置き用ステイを取り付け、設置してください。

- 縦置き用ステイを取り付ける場合は、装置本体側面にある矢印と縦置き用ステイの矢印が合うようにしてください。※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- 縦置き用ステイを取り外す場合は、縦置き用ステイを底面にあるツメを外側に引きながら取り外してください。

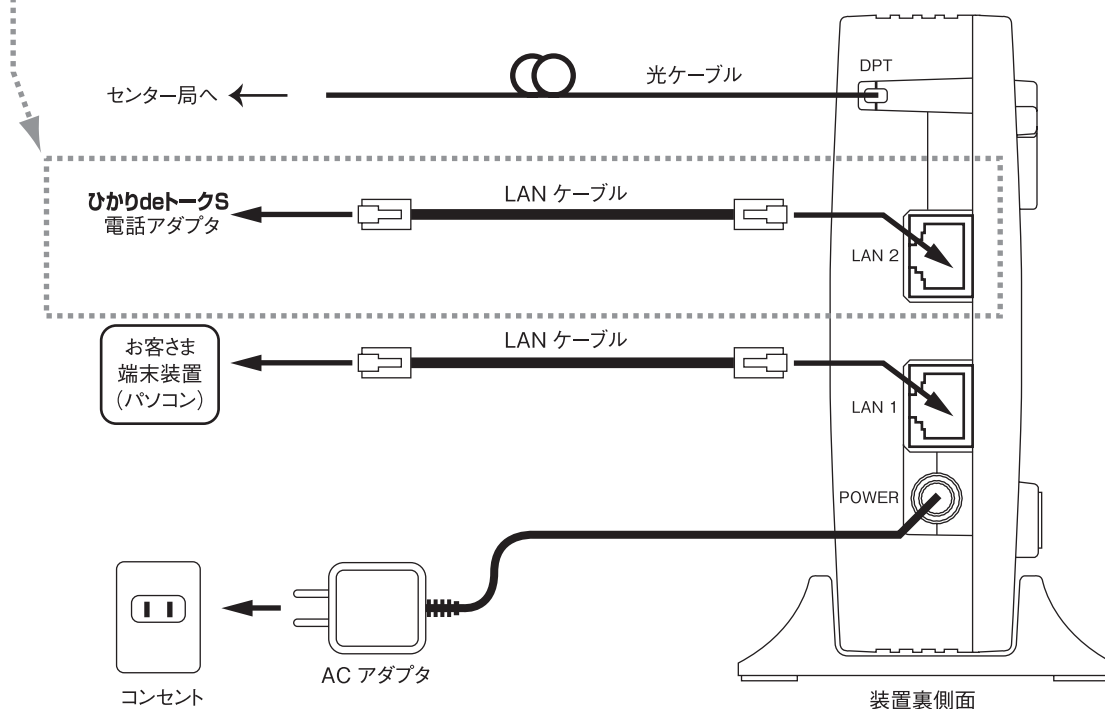


(2)接続

本装置設置後、お客さままでの設定操作は不要です。
以下の方法でケーブルを接続してご利用ください。

- ACアダプタをコンセント(AC100V)へ差し込んでください。
- 装置裏面にあるRJ-45モジュージャック接続口「LAN1」「LAN2」にLANケーブルのRJ-45モジュラープラグを差し込んでください。
※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- LAN1からLANケーブルの先をお客さまのパソコンに接続してください。

●LAN2は**ひかりdeトークS**電話アダプタ専用となり、パソコンを接続していただいてもWeb閲覧・メールの送受信などオンラインサービスはご利用いただけません。



項目	内容
ACアダプタ	商用 AC100V 50/60Hz
LAN1 ポート※	10/100/1000MHzオートネゴシエーション固定 または10/100MHz オートネゴシエーション固定
LAN2 ポート	10/100MHz オートネゴシエーション固定

※サービスに応じてどちらかの通信速度が設定されます。

(3)ご注意

本装置を配置する場合は、密閉された場所をさけ、
装置本体周囲に20mm以上の空間を確保してください。

(4)確認

接続が終わりましたら装置ランプが次の状態になることを確認してください。

装置ランプ	状 態
POWER	緑点灯
SYSTEM	緑点灯
PON LINK	緑点灯
LAN1 (1000M) ※1	緑点滅
LAN1 (100M) ※1	
LAN2 ※2	緑点灯 (通信中は点滅)

※1 お客様のパソコンが接続されている場合、そのパソコンの接続設定状態またはサービス内容によりLAN1 (1000M)またはLAN1 (100M)のどちらかが点滅します。

※2 **ひかりdeトークS** 電話アダプタが接続されている場合。
しばらく待っても、状態が改善されない場合は「故障かなと思ったら」をご覧ください。

故障かなと思ったら

通信できない場合や装置の故障と思われる場合には、次の点についてご確認をお願いします。

ご確認いただいても復旧できない、故障の状態が次のケースにあてはまらない場合には、弊社までご連絡ください。

状 態	確認内容
POWERランプが点灯しない	電源プラグが正しく取り付けられているか確認してください。
LAN1、LAN2ランプが点灯しない	LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ご使用のLANケーブルがカテゴリ5以上であるか確認してください。 ご使用のLANケーブルに断線などの異常がないか確認してください。 お客さまの端末装置側の設定がオートネゴシエーションになっているか確認してください。

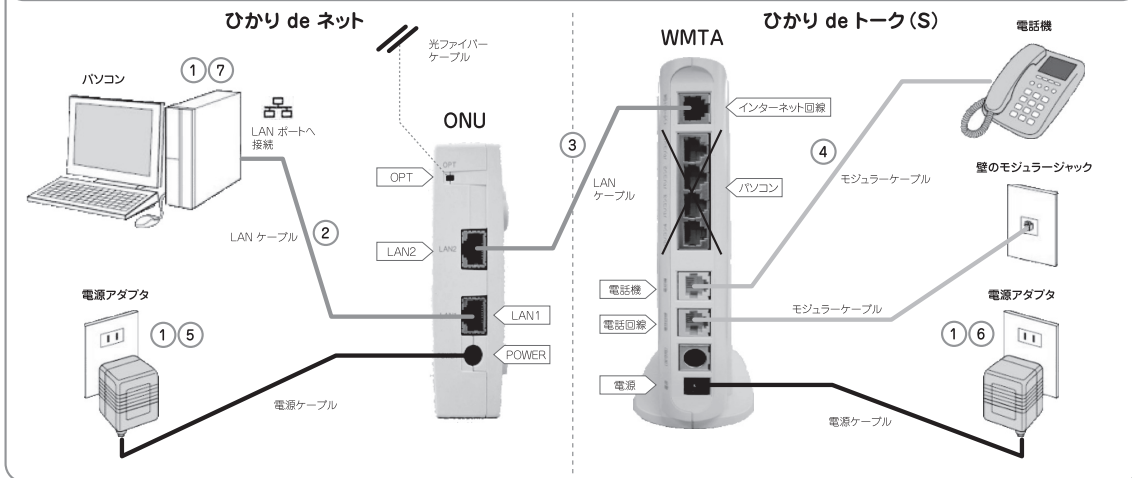
装置の仕様

項 目	仕 様	備 考
インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T規格準拠 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T規格準拠	各1ポート
電源	AC100V(50/60Hz)	
消費電力	10W以下	
外形寸法	38(W)×158(D)×114(H)mm	
質量	装置本体：0.4kg以下	
	ACアダプタ：0.4kg以下	
設置場所	屋内	
使用環境	温度0～40℃／湿度30～80%	結露しないこと
関連規格	VCCIクラスB準拠	

ひかりdeトーク(S) 機器の接続方法とインターネット接続ができない場合

～ひかりdeトーク(S) がご利用いただけない場合には、接続手順をお試しください～

接続配線図 ひかりdeトーク(S)



接続手順

1 機器の電源を切る

- 接続する機器の電源をすべてお切りください。
- パソコン…シャットダウンします。
(電源プラグをコンセントから抜く必要はありません。)
 - ONU・WMTA…電源アダプタをコンセントから引き抜きます。

2 配線を確認する (ONU とパソコンを接続)

ONUのLANポート1とPCのLANポートをLANケーブル (RJ-45/ストレートタイプ) で接続します。
※LANケーブルはお客様でご用意いただくケーブルです。

3 配線を確認する (ONUとWMTAを接続)

ONUのLANポート2とWMTAのインターネット回線ポートをLANケーブル (RJ-45/ストレートタイプ) で接続します。
※LAN ケーブルはお客様でご用意いただくケーブルです。

4 配線を確認する (WMTAと電話機を接続)

WMTAの電話機ポートと電話機のモジュラージャック (電話回線用) をモジュラーケーブル (RJ-11) で接続します。

5 ONUの電源を入れる

ONUの電源アダプタをコンセントに差し込みます。
正面のPOWER・SYSTEM・PONLINKのランプが緑点灯するまでお待ちください。
ONUランプの正常時の状態はP.8をご参照ください。

6 WMTAの電源を入れる

ONUのPOWER・SYSTEM・PONLINKのランプが緑点灯している事をご確認の上、WMTAの電源アダプタをコンセントに差し込みます。ランプが正常に点灯するまでお待ちください。
WMTAの正常時の状態はP.43をご参照ください。

7 パソコンの電源を入れる

ONUのPOWER・SYSTEM・PONLINKのランプが緑点灯している事をご確認の上、パソコンの電源を入れてください。

【注意事項】

WMTA のパソコンポートはご利用いただけません。複数のパソコンを同時にインターネット接続するには、お客様にてルータなどのネットワーク機器をご用意ください。尚、ルータなどネットワーク機器をご利用の場合につきましては、サポートいたしかねます。ルータなどネットワーク機器のご利用はお客様の責任範囲とさせていただきます。これらの機器につきましては、機器製造元メーカーまでお問合せください。
※接続手順をお試しいただき電話ひかりdeトーク(S) がご利用いただけない場合、インターネット接続ができない場合はカスタマーセンターまでお問い合わせください。



ご利用時の注意

●停電時は、ひかりdeトーク(S)はご利用いただけません。

携帯電話またはお近くの公衆電話をご利用ください。
※停電回復後、ひかりdeトーク(S)をご利用いただくためには、お客様自身でONU・WMTAの確認・操作が必要となる場合があります。
ひかりdeトーク(S)がご利用いただけない場合には、接続手順をご覧ください。

●ひかりdeトーク(S)とソフトバンクモバイル(携帯電話)の通話に関する注意事項

ひかりdeトーク(S)からソフトバンクモバイルとの通話につきまして、以下の点にご注意ください。

- ・ひかりdeトーク(S)からソフトバンクモバイルへ発信 → 接続音「ブブブ、ブブブ」有り
(通話料は無料ではありません。携帯電話への発信通話料がかかります。)
- ・ソフトバンクモバイルからひかりdeトーク(S)へ発信 → 接続音、無し(通話料は無料ではありません。)

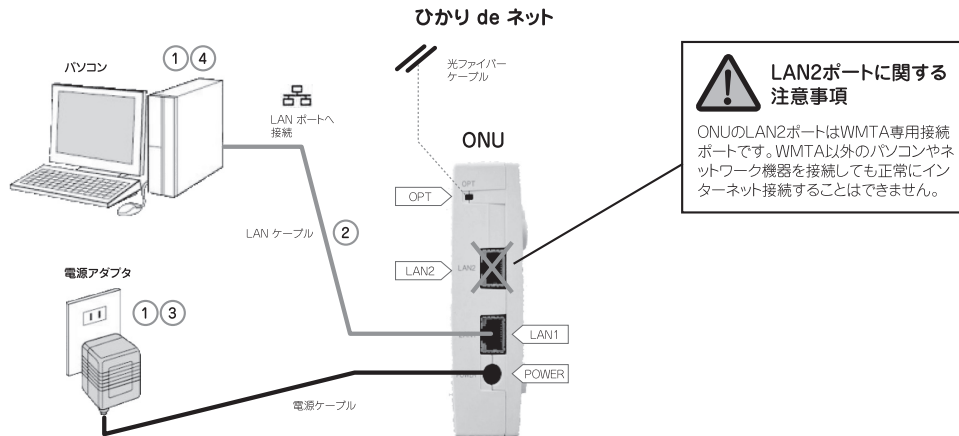
●ひかりdeトーク(S)とひかりdeトーク(F)は無料通話対象ではありません。

ひかりdeトーク(S)は、ソフトバンクテレコム株式会社と提携したサービスです。
ひかりdeトーク(F)は、フュージョン・コミュニケーションズ株式会社と提携したサービスです。

ひかりdeネット 機器の接続方法とインターネット接続ができない場合

～ひかりdeネットがご利用いただけない場合には、接続手順をお試しください～

接続配線図 ひかりdeネット



接続手順

1 機器の電源を切る

- 接続する機器の電源をすべてお切りください。
- パソコン…シャットダウンします。
（電源プラグをコンセントから抜く必要はありません。）
 - ONU…電源アダプタをコンセントから引き抜きます。

2 配線を確認する（ONU とパソコンを接続）

ONUのLANポート1とPCのLANポートをLANケーブル（RJ-45/ストレートタイプ）で接続します。
※LAN ケーブルはお客様でご用意いただくケーブルです。

3 ONUの電源を入れる

ONUの電源アダプタをコンセントに差し込みます。
正面のPOWER・SYSTEM・PONLINKのランプが緑点灯するまでお待ちください。
ONUランプの正常時の状態はP.8をご参照ください。

4 パソコンの電源を入れる

ONUのPOWER・SYSTEM・PONLINKのランプが緑点灯している事をご確認の上、パソコンの電源を入れてください。

【注意事項】

※接続手順をお試しいただき電話ひかりdeトーク(S)がご利用いただけない場合、インターネット接続ができない場合はサポートセンターまでお問い合わせください。



注意事項

ひかりdeネットは、ベストエフォート型のサービスであり、通信速度を保証するものではありません。

- ONUの電源アダプタは正しく接続してください。誤ってほかの製品のものを接続すると、機器の誤動作や故障、発熱の原因となり、大変危険です。
- ルータやHUBなどのネットワーク機器をご利用の場合には、各機器の電源の抜き差しが必要です。
- ONU のLAN2ポートはWMTA 専用接続ポートです。
WMTA 以外のパソコンやネットワーク機器を接続しても正常にインターネット接続をすることはできません。
ONUはルータ機能を搭載していません。複数のパソコンやネットワーク機器をインターネット接続するには、別途ルータをお客様ご自身でご用意していただく必要があります。
尚、ルータなどネットワーク機器をご利用の場合はサポートいたしかねます。予めご了承ください。

困ったときには…

ひかりdeトーク(S)・ひかりdeネットの接続ができない場合は、機器のリセットをお試しください。

カスタマーサービス

あいchan-NETサポートセンター

TEL : 0436-24-9407

E-mail : info@icntv.ne.jp

ホームページ : <http://www.icntv.ne.jp/>

●電話によるお問合せ、および受付時間
平日 10:00～12:00、13:00～17:00
(土・日・祝・年末年始を除く)

準備と設定作業の流れ

インターネットをご利用いただくには、お客様に次のような準備と設定作業を行っていただく必要があります。

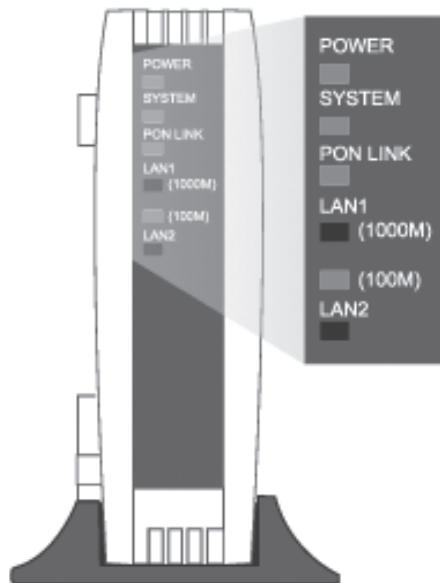
1) 接続の方法

- ① パソコンにウィルス感染防止などの機能のあるセキュリティソフトがインストールされているかご確認ください。
無い場合は、②のファイアウォールの設定を必ず行ってください。(無い場合は、セキュリティソフトの導入をおすすめします。)
セキュリティソフトがインストールされていて、ファイアウォールが有効になっている場合は、③へ進んでください。
- ② ファイアウォールの設定をする。(次頁をご参照下さい。)
(MacintoshにはOSに付属しているファイアウォールはありません。)
- ③ パソコンを終了(電源OFF)してください。
- ④ 回線終端装置(ONU)とパソコンをLANケーブルで接続します。
- ⑤ 回線終端装置(ONU)をリセット(電源ケーブルの抜き差し)してください。
- ⑥ パソコンを起動(電源ON)してください。
※無線LANやルータ等をお使いの場合は、パソコンを起動する前に必ず再起動してください。
無線LAN・ルータ機器が正常に起動してからパソコンを起動してください。
無線LAN・ルータ機器が正常起動する前にパソコンを起動するとインターネットに接続できない場合があります。
必ず回線終端装置(ONU)が正常に通信できる状態になってから、無線LAN・ルータ機器を再起動してください。

これでインターネットに接続できる状態になります。

■回線終端装置(ONU)各部名称と機能

回線終端装置(ONU)のランプについてご説明いたします。



▶ POWER

電源ランプです。緑色点灯が正常です。

▶ SYSTEM

システム状況を表すランプです。緑色点灯が正常です。

▶ PON LINK

センター局との接続状況を表します。緑色点灯が正常です。

▶ LAN1 (1000M)

LAN1が1000BASEのイーサネット端子に接続されている時、緑色に点滅します。

▶ LAN1 (100M)

LAN1が100BASEのイーサネット端子に接続されている時、緑色に点滅します。

▶ LAN2

ひかりdeトークにご加入頂いている方のみ使用します。
このランプは当社でお貸出しするTAを接続した時に点灯します。

各種アプリケーションソフトの設定方法

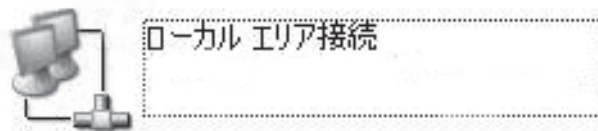
■Windows、XPをお使いの方

1) ファイアウォールの設定(WindowsXPをご使用の方)

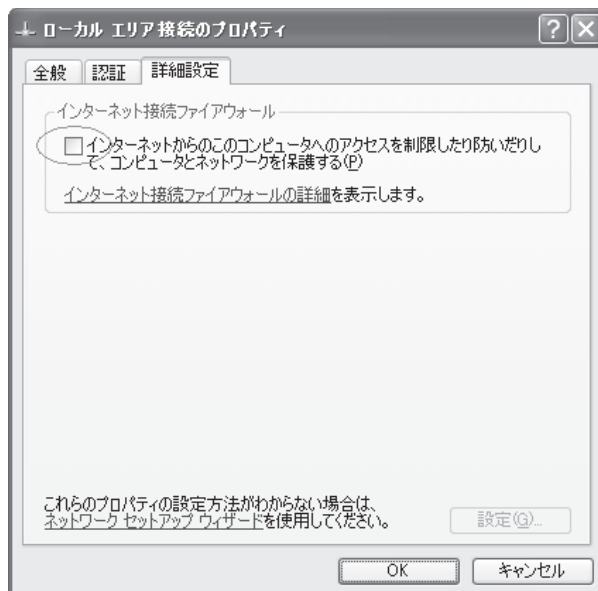
ファイアウォールとは、パソコンのセキュリティ設定の内の一つです。ウィルスの中には、モデムとパソコンをケーブルでつないただけで感染してしまうものが存在します。WindowsXPを使用している場合、このファイアウォールを設定していないと、パソコンがウィルスに感染してしまう危険性が高くなりますのでご注意ください。

尚、Windows2000以前のOSの場合は、ファイアウォールの機能が付属していませんので、市販のファイアウォールのソフトを導入する等、セキュリティ対策を行ってください。

1. スタートボタンからコントロールパネルを開きます。
2. コントロールパネルから「ネットワークとインターネット接続」→「ネットワーク接続」の順に開きます。
(コントロールパネルの中に「インターネットとネットワーク接続」の項目がない場合があります。
その場合は、ネットワーク接続を開いてください。)
3. 「ローカルエリア接続」のアイコンをダブルクリックして、「ローカルエリア接続の状態」を表示させ、「プロパティ」を開きます。



4. 「インターネット接続ファイアウォール」の枠内のチェックボックスをチェックして、「OK」のボタンを押してください。(SP2をご利用の方は、このチェックボックスはありません。セキュリティセンターからWindowsファイアウォールを有効にしてください。)



5. 「ローカルエリア接続」の右上に、鍵のマークが表示されたら、設定完了です。



■Windows Vistaをお使いの方

ファイアウォールとは、パソコンに必要なセキュリティの設定の一つです。
ファイアウォールが有効に設定されていない場合、ご使用パソコンが不正侵入されたり、ウィルスに感染してしまう可能性がありますので、以下の手順でファイアウォールが有効に設定されていることをご確認ください。

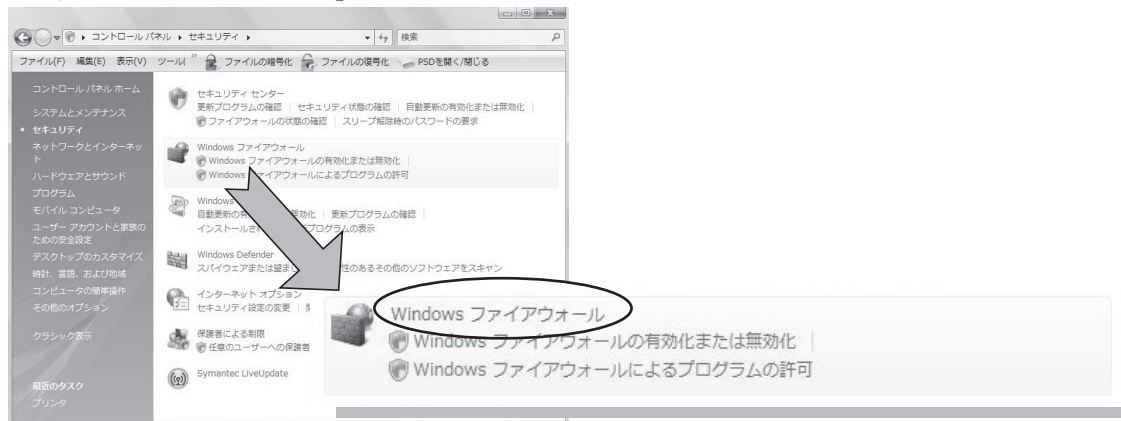
1. 画面左下にある  のボタンを押し、「コントロールパネル」をクリックします。



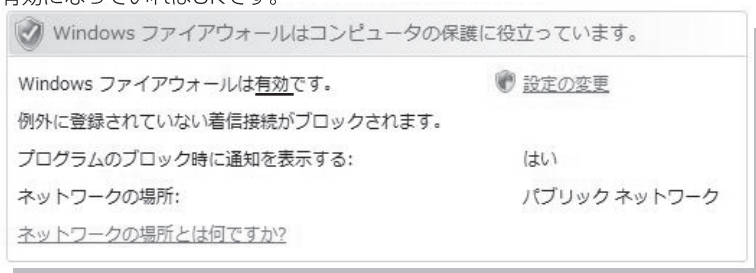
2. 「セキュリティ」をクリックします。



3. 「Windowsファイアウォール」をクリックします。



4. 画面中央で「Windowsファイアウォールは有効です」となっていることを確認します。
有効になっていればOKです。

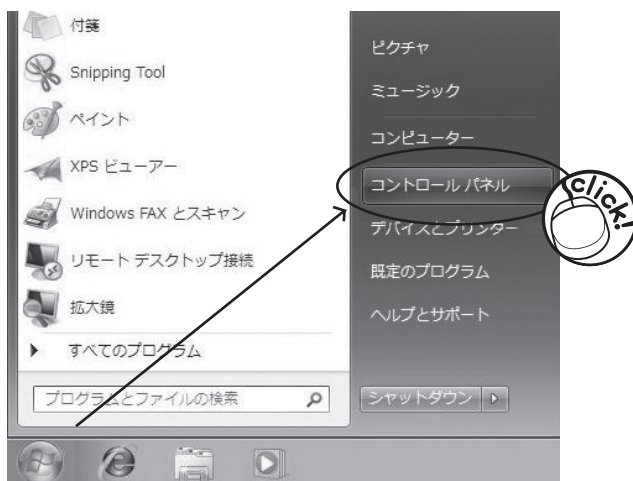


もし、Windowsファイアウォールが無効になっていたら、「設定の変更」をクリックして、有効に設定します。
（「続行するにはあなたの許可が必要です」というウィンドウが現れたら、「続行」をクリックします。）

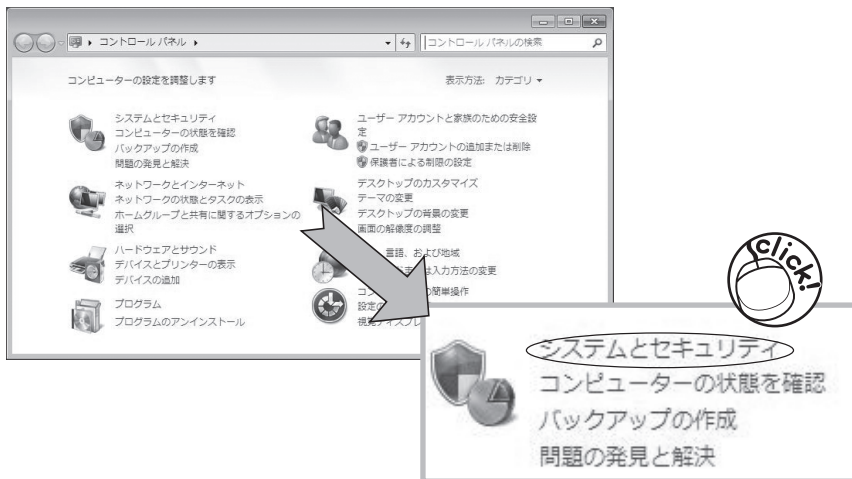
■Windows 7をお使いの方

ファイアウォールとは、パソコンに必要なセキュリティの設定の一つです。
ファイアウォールが有効に設定されていない場合、ご使用パソコンが不正侵入されたり、ウィルスに感染してしまう可能性がありますので、以下の手順でファイアウォールが有効に設定されていることをご確認ください。

1. 画面左下にある  のボタンを押し、「コントロールパネル」をクリックします。



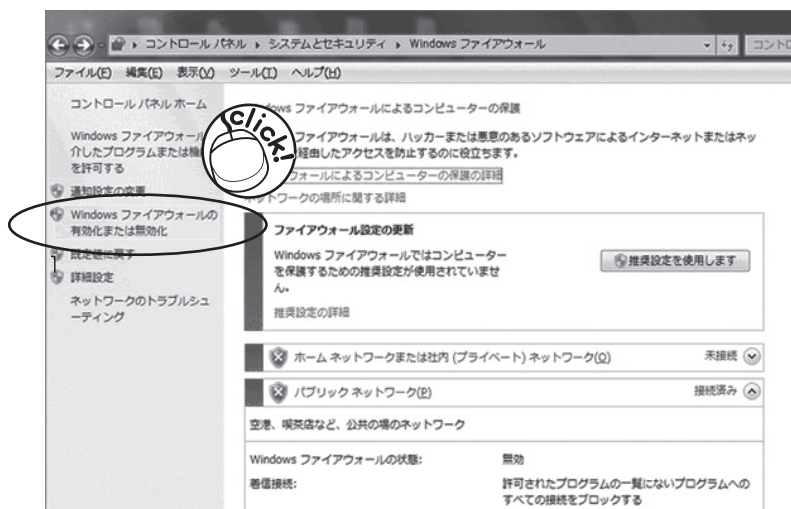
2. 「システムとセキュリティ」をクリックします。



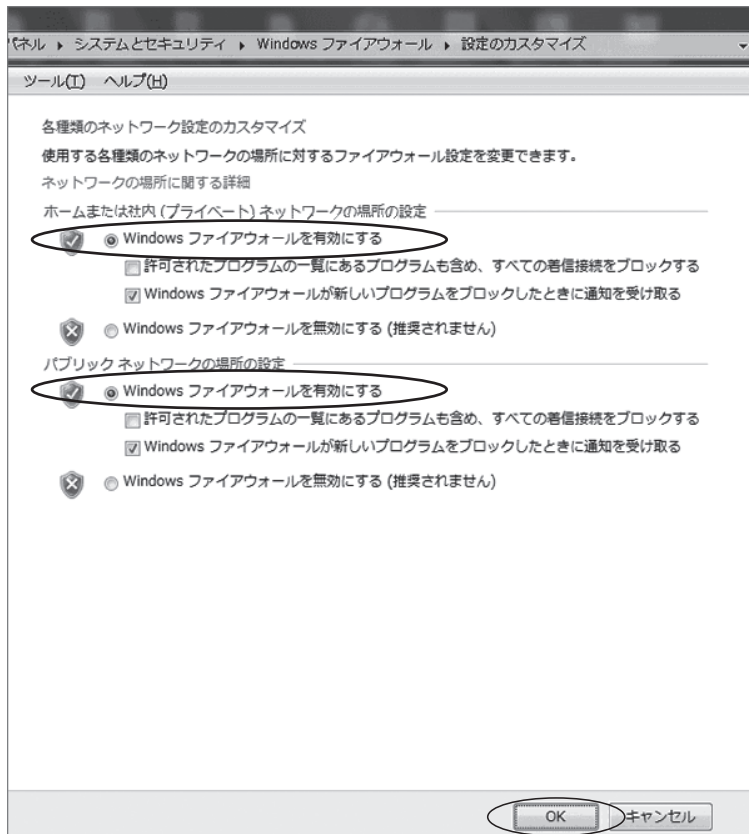
3. 「Windowsファイアウォール」をクリックします。



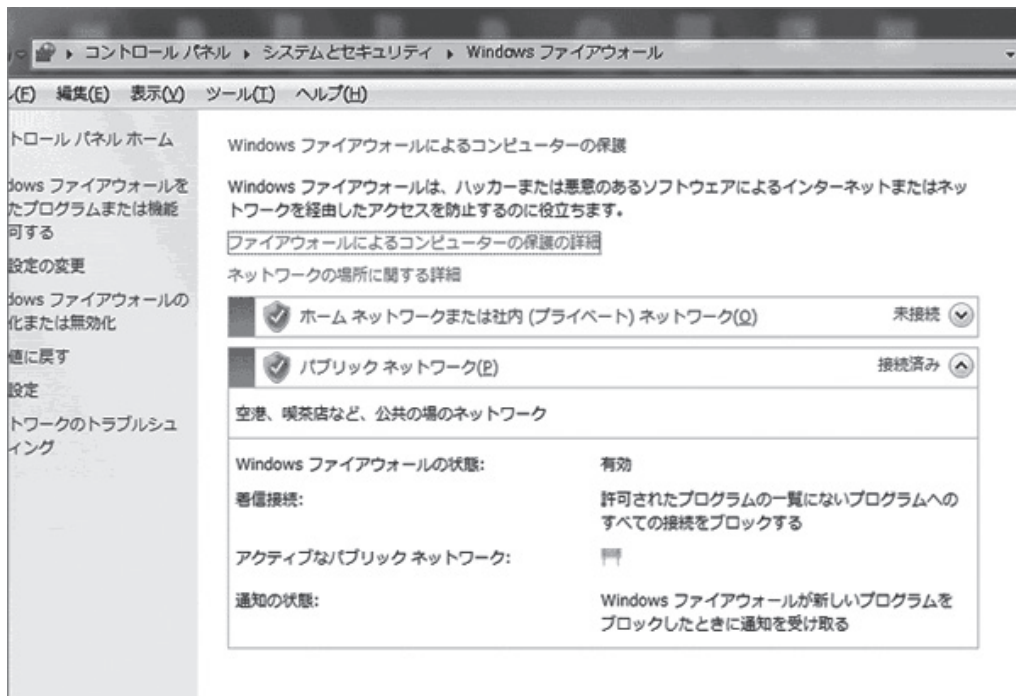
4. 「Windowsのファイアウォール」画面が表示されます。
「Windowsのファイアウォールの有効化または無効化」をクリックしてください。



5. 「設定のカスタマイズ」画面が表示されますので以下のように設定してください。



6. 以下の画面が表示されます。



これでWindowsファイアウォールの設定は完了です。

ファイアウォールとは・・・？

パソコンはインターネットに接続すると、さまざまな通信をインターネットの世界と始めます。パソコンもまた、インターネットの世界からさまざまな形でアクセスされるということになります。例えば、ホームページのファイルをダウンロードしたり、メールを受信したりetc・・・。一般的にはホームページの表示やメールの送受信によるもの等があげられるのですが、中にはこれら以外に、ウィルスを送りつけられたり、パソコンに不正に入り込もうとしたりという、アクセスを許すことができないものもあります。

ファイアウォールとは、パソコンの門番のようなものであり、インターネットからのアクセスやインターネットへ出て行くデータを監視して、データを通したり遮断したりする役割をもっています。

2) ブラウザの設定

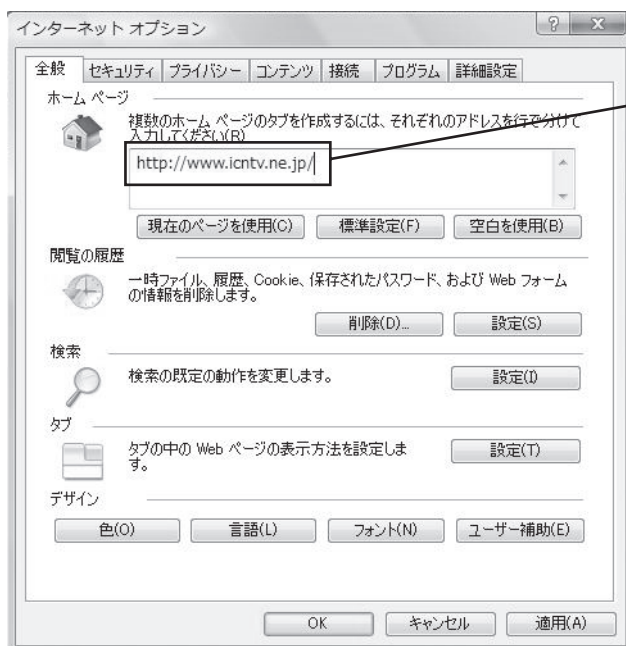
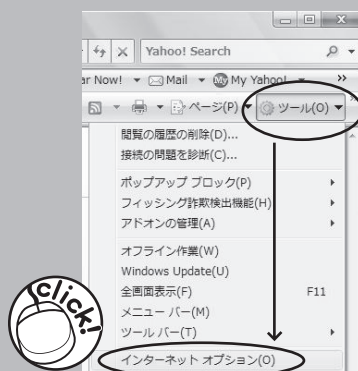
■Windows、Vistaをお使いの方

※ インターネットエクスプローラ等のホームページを閲覧するためのソフトを“ブラウザ”といいます。ここでは、このブラウザの適切な設定方法を紹介します。

◆ホームページの設定（インターネットに接続したとき、最初に出てくるページを設定します。）

1.  → 「コントロールパネル」 → 「ネットワークとインターネット」 → 「インターネットオプション」の順でクリックします。※WindowsXPをご使用の方は最初に「スタート」のボタンを押します。

※ インターネットエクスプローラが立ち上がっている状態では、「ツール」→「インターネットオプション」の順でクリックします。

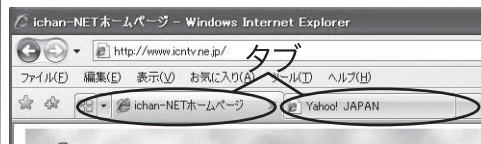


2. 「インターネットオプション」が開きます。

●最初に表示するページのURL(ホームページのアドレス)を入力します。

「ホームページ」枠内のアドレスを複数行に分けて入力すると、ホームページがタブで区切られて、複数表示されます。

このように、タブで区切って複数のページを表示できるブラウザを“タブブラウザ”と呼びます。

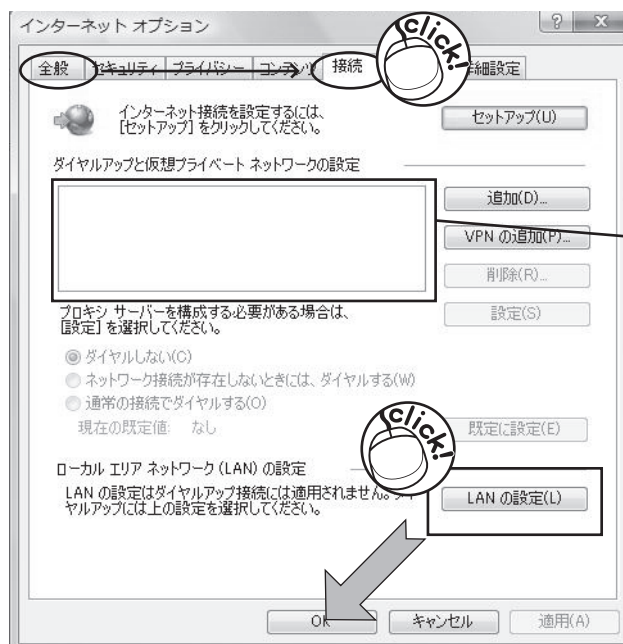
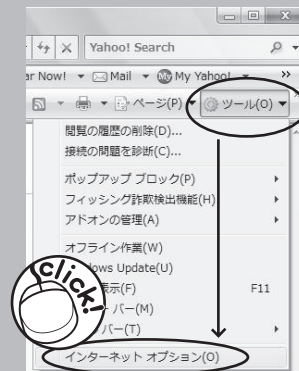


3. 設定が完了したら「OK」のボタンをクリックします。

◆インターネット接続の設定

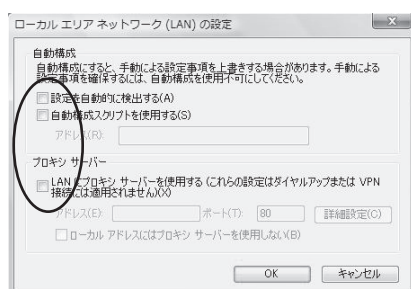
1.  → 「コントロールパネル」 → 「ネットワークとインターネット」 → 「インターネットオプション」の順にクリックします。※WindowsXPをご使用の方は最初に「スタート」のボタンを押します。

※ インターネットエクスプローラが立ち上がっている状態では、「ツール」→「インターネットオプション」の順でクリックします。



2. 「接続」タブをクリックし、設定項目を確認します。

電話回線やVPN接続の設定がある場合、アイコンが表示されます。通常の場合は空欄でOKです。



※「LANの設定(L)」のボタンをクリックすると、「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」というウィンドウが現れます。チェックボックスが3つありますが、全てのチェックを外します。チェックを外したら、「OK」のボタンをクリックします。

3. 設定が完了したら「OK」のボタンをクリックします。

2) ブラウザの設定

■Windows 7をお使いの方

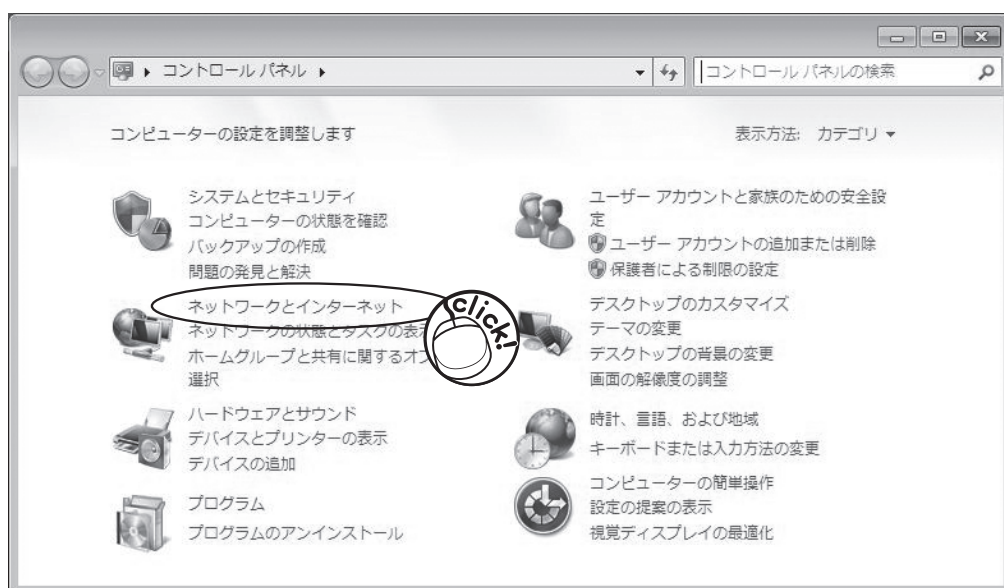
※ インターネットエクスプローラ等のホームページを閲覧するためのソフトを“ブラウザ”といいます。ここでは、このブラウザの適切な設定方法を紹介します。

◆ホームページの設定（インターネットに接続したとき、最初に出てくるページを設定します。）

1.  → 「コントロールパネル」をクリックします。

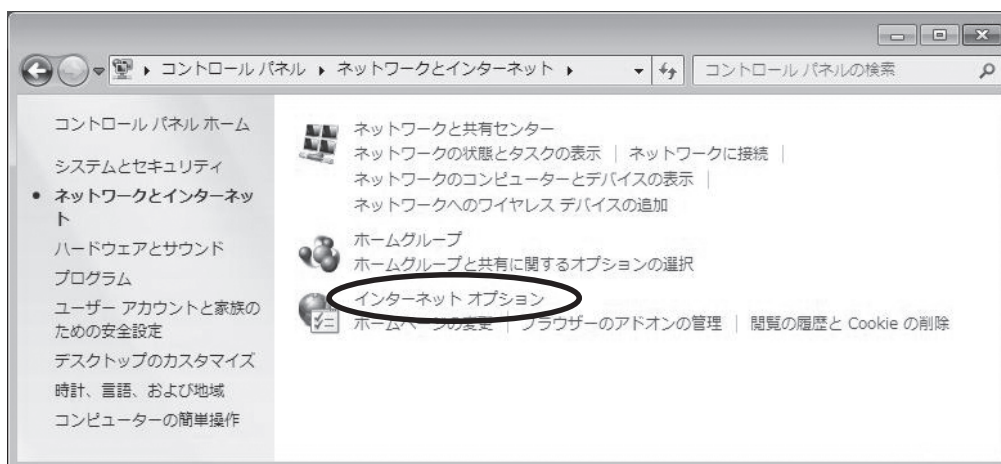


2. 「コントロールパネル」の画面が表示されます。「ネットワークとインターネット」をクリックします。

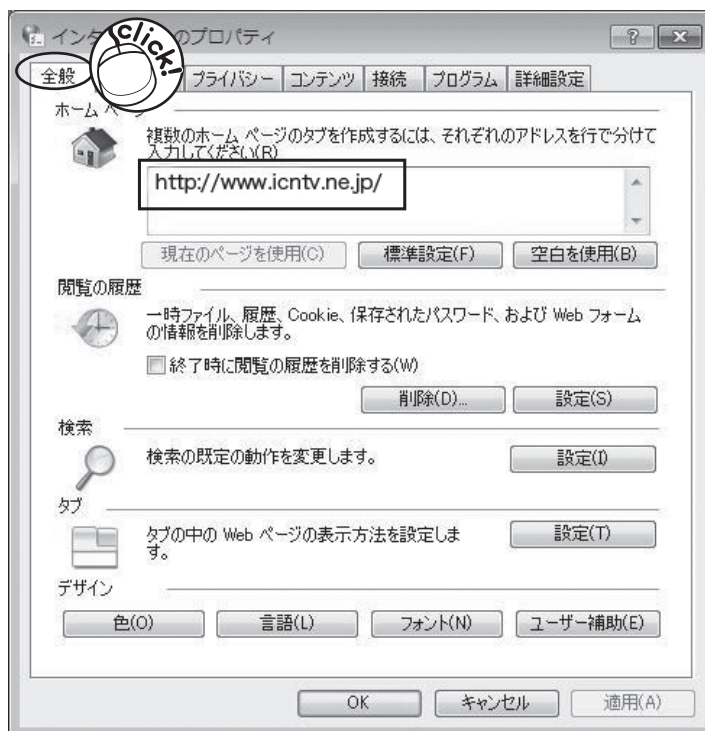


◆インターネット接続の設定

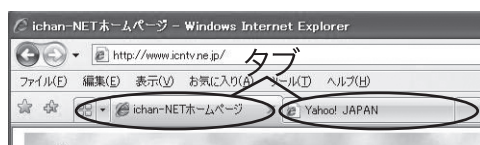
3. 「ネットワークとインターネット」の画面が表示されます。「インターネットオプション」をクリックします。



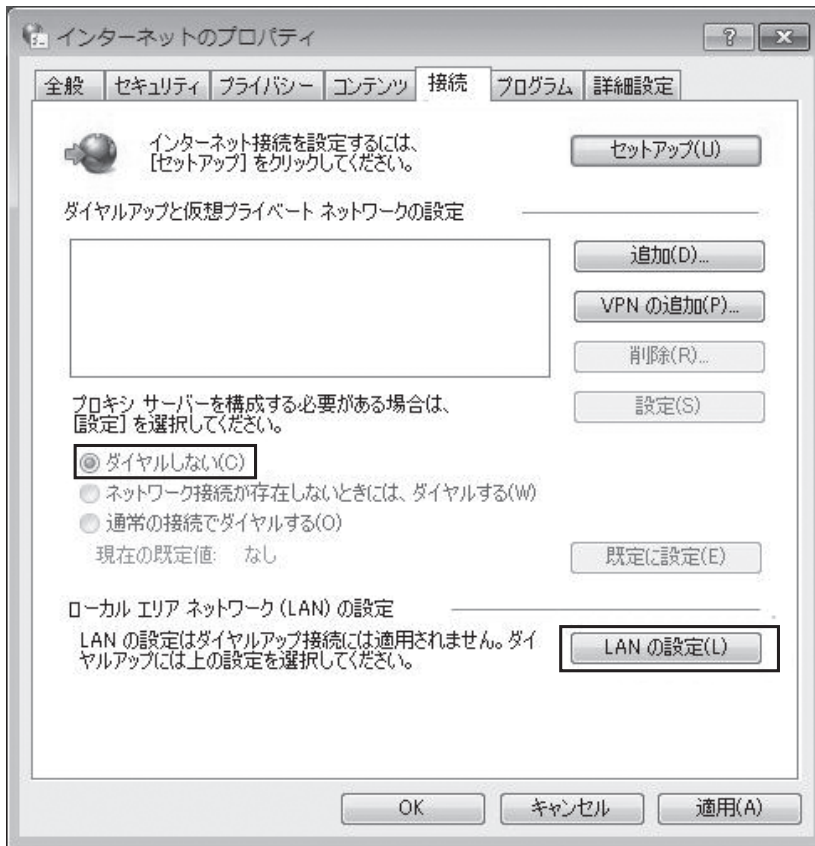
4. 「インターネットオプション」の画面が表示されます。「全般」タブをクリックします。「ホームページ」入力欄に「http://www.icntv.ne.jp/」と入力します。



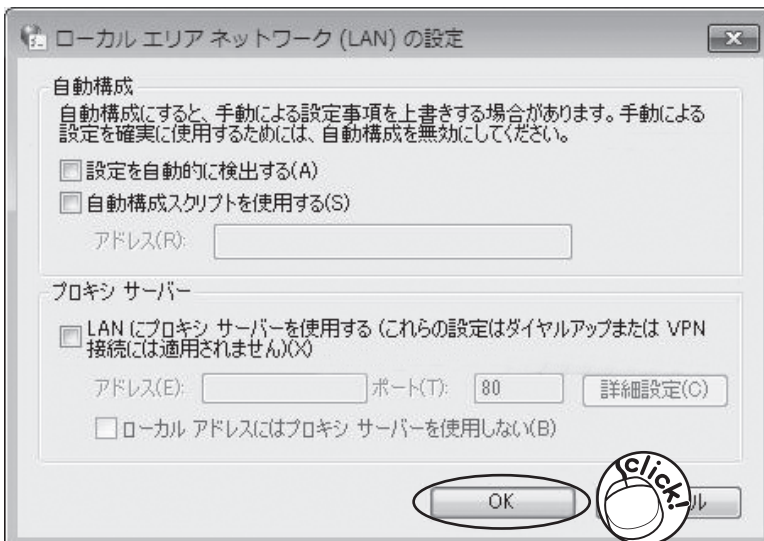
「ホームページ」枠内のアドレスを複数行に分けて入力すると、ホームページがタブで区切られて、複数表示されます。
このように、タブで区切って複数のページを表示できるブラウザを「タブブラウザ」と呼びます。



4. 「接続」タブをクリックします。「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」の欄に接続のためのアイコンがある場合は、「ダイヤルしない (C)」をチェックします。



4. 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」の画面が表示されます。
- ・【設定を自動的に検出する (A)】
 - ・【自動構成スクリプトを使用する (S)】
 - ・【LANにプロキシサーバーを使用する… (X)】のチェックをはずします。
- 「OK」をクリックします。「インターネットのプロパティ」の画面に戻りますので、「OK」をクリックします。



以上で終了です。

3) 電子メールの設定方法

■Windows、Vistaをお使いの方

※Windows VistaにはOutlook Express の代わりに、“Windows Mail”がインストールされています。Windows Vistaで電子メールを使う時には、このWindows Mailを使います。Windows XP ではOutlook Expressを使います。

1. 「Windowsメール」(またはOutlook Express)を立ち上げます。画面上のWindowsメールのアイコンをダブルクリックします。



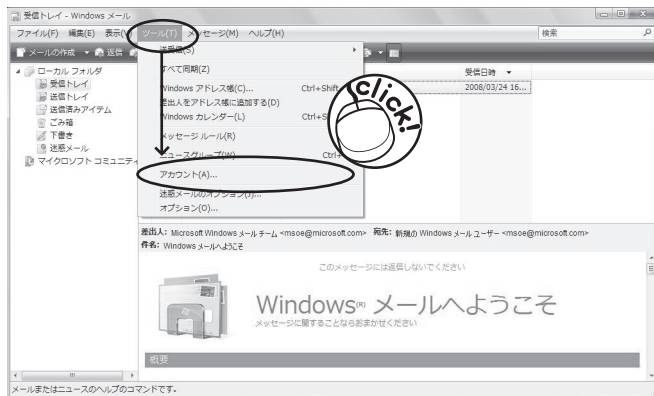
←Windowsメールのアイコン
※Windows Vista の場合



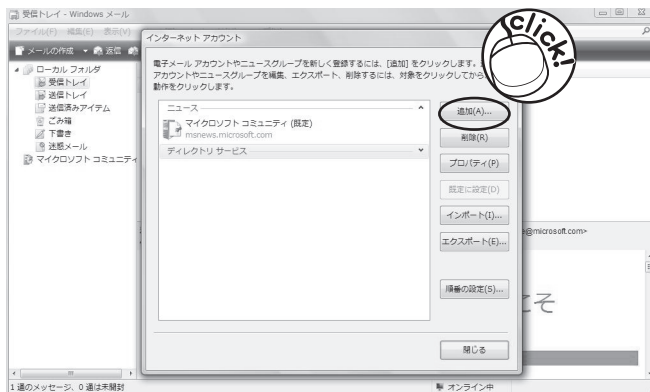
←Outlook Express のアイコン
※Windows XP の場合

- ※ または、左下の → 「すべてのプログラム」をクリックして、「Windows メール」(または Outlook Express)を探します。※Windows XP をご使用の方は最初に「スタート」のボタンを押します。

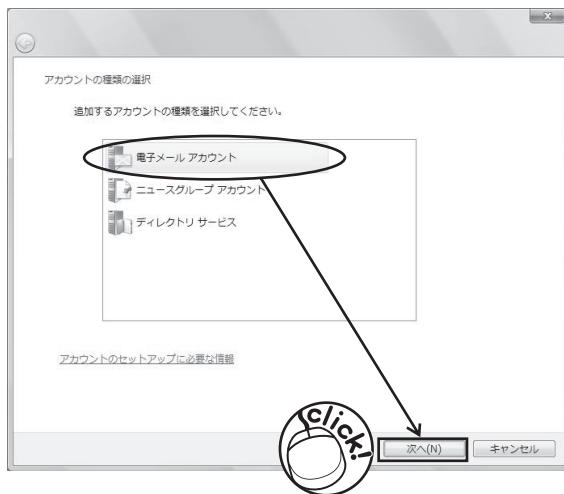
2. Windows メールが開きます。設定画面を表示するために、「ツール」から「アカウント」をクリックします。
※ Windowsメールを初めて開くときは、Windowsメールを開いたときに設定画面が現れますので、5.へ進んでください。



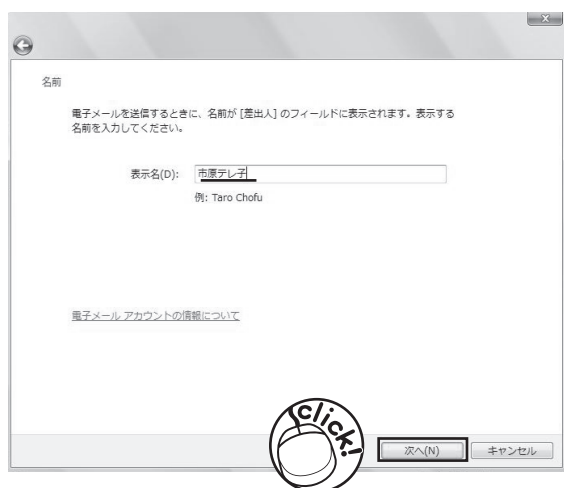
3. 「インターネットアカウント」が開きます。右端の「追加」のボタンをクリックします。



4. アカウントの種類の選択から、「電子メールアカウント」をクリックして、「次へ(N)」をクリックします。



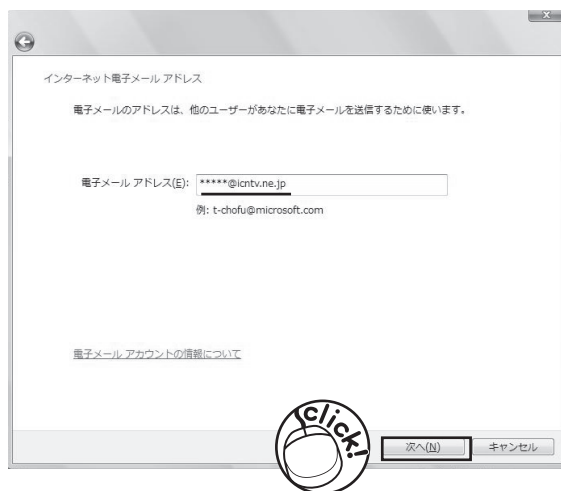
5. 名前を入力する画面が現れます。「表示名(D)」の横の欄に、メールの送信元の名を入力します。



※ここに入力された表示名から相手にメールが送信されます。入力には、漢字、ひらがな、カタカナ、数字、アルファベット等の文字が使用できます。

入力したら、「次へ(N)」をクリックします。

6. メールアドレスを入力する画面が現れます。当社より郵送されている「登録完了のお知らせ(黄色い封筒で郵送されています。)」のメールアドレス欄に記載されているメールアドレスを入力します。



入力したら「次へ(N)」をクリックします。

7. 受信メールサーバー、送信メールサーバーを入力する画面が現れます。

◆以下のように入力します。※「登録完了のお知らせ」をご参照ください。

- ・「受信メールサーバーの種類(S)」・・・POP3
- ・「受信メール(POPまたはIMAP)サーバー(I)」・・・pop.icntv.ne.jp
- ・「送信メール(SMTP)サーバー名(O)」・・・mail.icntv.ne.jp

◆「送信サーバーは認証が必要(V)」のチェックボックスにはチェックを入れません。

入力できたら、「次へ(N)」をクリックします。

8. ユーザー名、パスワードを入力する画面が現れます。

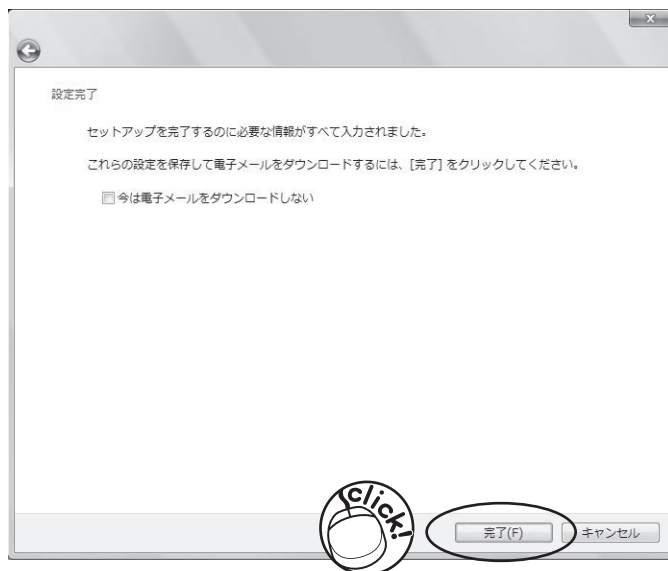
◆以下のように入力します。※「登録完了のお知らせ」をご用意ください。

- ・ユーザー名(A)・・・「メールアカウント(POP3 ユーザー名)」※各ユーザーごとに異なります。
- ・メールパスワード・・・「メールパスワード」※●で表示されますので、間違えないように入力してください。

◆パスワードを保存する・・・こちらのチェックボックスにチェックを入れておくと、パスワードがWindowsに記憶され、受信のボタンをクリックすると、自動的にメールが受信されます。チェックを外しておくと、毎回パスワードが要求されます。

入力できたら、「次へ(N)」をクリックします。

9. 設定完了になります。



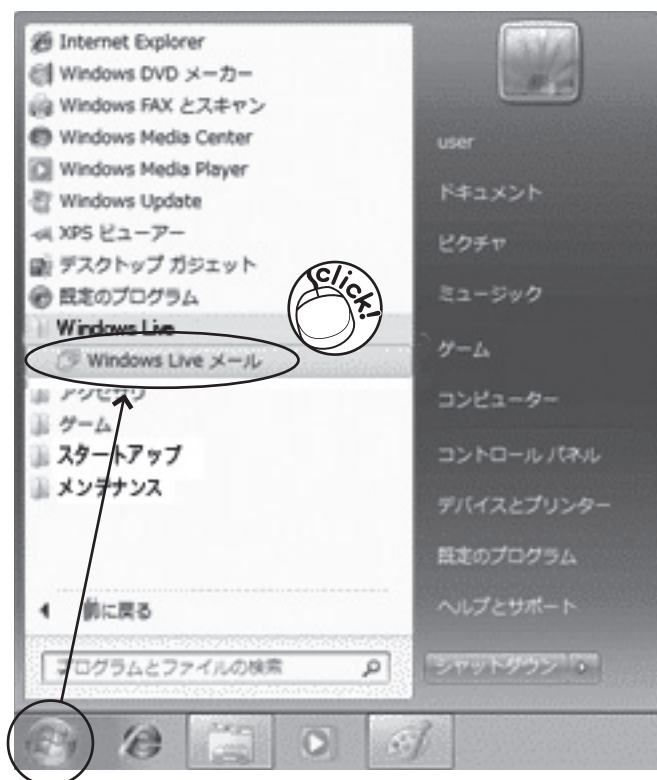
以上でEメールの設定は完了です。「完了 (F)」をクリックして、設定を完了させます。完了ボタンをクリックすると自動的にメールが受信されます。今はメールを受信しない場合は「今は電子メールをダウンロードしない」のチェックボックスにチェックを入れます。

※Outlook Express ではこのチェックボックスはありません。

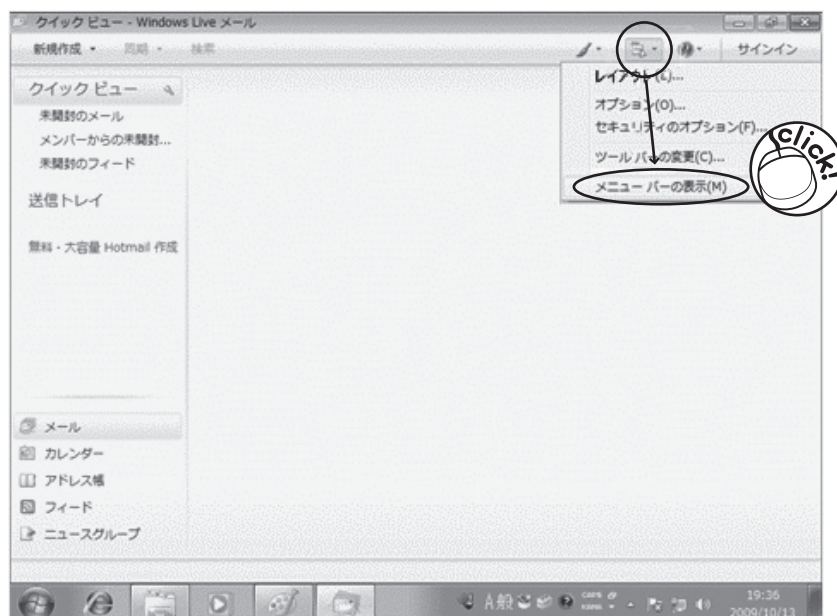
■Windows 7をお使いの方

※Windows 7にはOutlook Express の代わりに、“Windows Live Mail”がインストールされています。
Windows 7で電子メールを使う時には、このWindows Live Mailを使います。Windows Vista ではWindows Mailを使います。

1. スタートメニューから「すべてのプログラム」→「Windows Live」→「Windows Live メール」を立ち上げます。



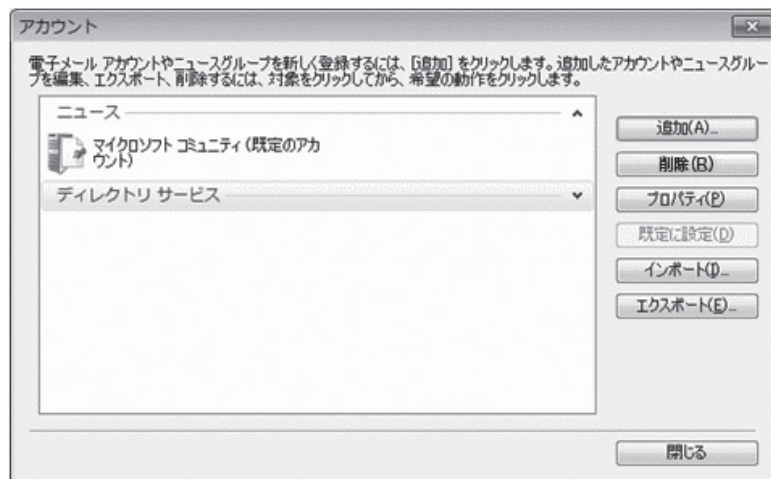
2. ツールバーの「メニューアイコン」から「メニューバーの表示」を選択します。



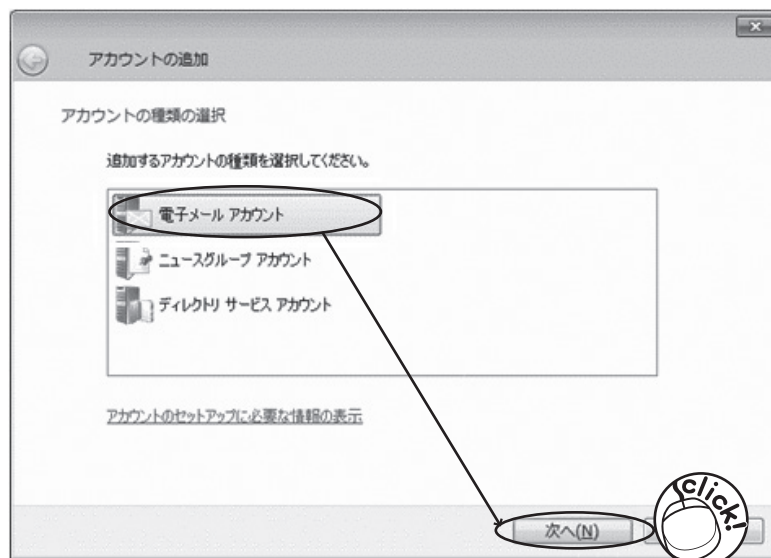
3.メニューバーの「ツール」から「アカウント」を選択します。



4.「アカウント」では右側の「追加」をクリックします。



5.「アカウントの追加」では「電子メールアカウント」をクリックしてから「次へ」をクリックします。



6. 「電子メールアカウントを追加する」では下記の通り入力します。

- 電子メールアドレス： ご自分で取得した「メールアドレス」を入力。
- パスワード： メールアドレス取得時にご自身で設定した「メールパスワード」を入力。
- パスワードを保存する： チェックします。
- 表示名： メールを送信した際に、送信者として表示される名前を入力。
- 電子メールアカウントのサーバー設定を手動で構成する： チェックしません。

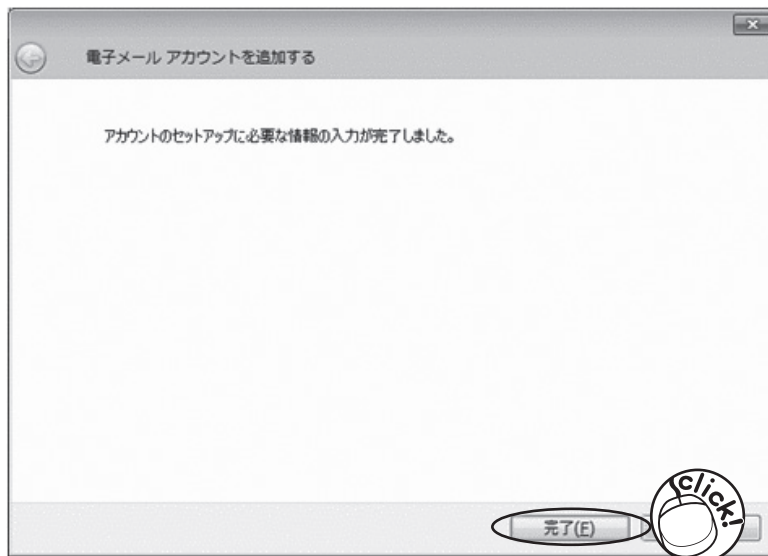
入力後、[次へ]をクリックします。

7. 下記画面では下記の通りに入力します。

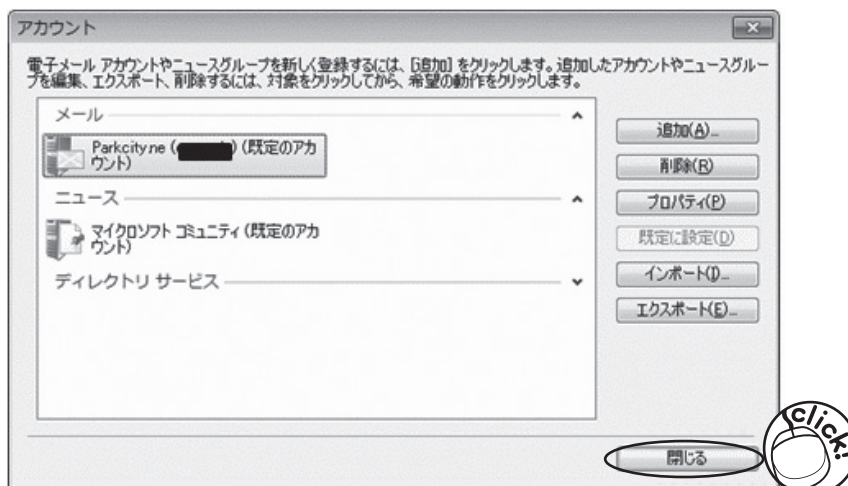
- 受信メールサーバーの種類： POP3を選択します。
- 受信サーバー： pop.icntv.ne.jp と入力。（ポートは110のままにします）
- このサーバーはセキュリティで保護された接続（SSL）が必要： チェックしません。
- ログインID： 「メールアカウント」を入力します。
- 送信サーバー： mail.icntv.ne.jp と入力。（ポートは25に変更します）
- このサーバーはセキュリティで保護された接続（SSL）が必要： チェックしません。
- 送信サーバーは認証が必要： チェックしません。

入力後、[次へ]をクリックします。

8. 「完了」をクリックします。



9. 「アカウント」の画面に戻る場合には[閉じる]をクリックします。



■Macintoshをお使いの方

1)Mac OS X TCP/IPの設定

※別のネットワーク（ISP）や無線LAN等に接続する場合を考慮しておりませんので、ご注意ください。

1. メニューバーからアップルメニュー  から「システム環境設定」を選択します。



または、Dockの「System Preferences」をクリックします。



2. 表示された「システム環境設定」の画面で、「ネットワーク」をクリックします。システム環境設定の画面に「ネットワーク」がない場合、「すべてを表示」をクリックして、画面下側に表示される一覧から、「ネットワーク」をクリックします。



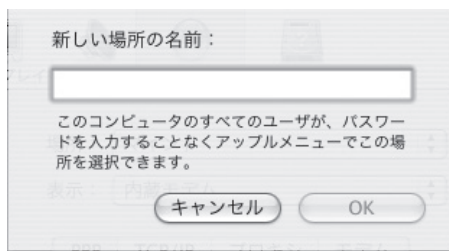
3. 表示された「ネットワーク」の画面で、「場所：」から「新しい場所....」をクリックします。

※ここでは、初めて接続設定をする場合についてご説明いたします。



※接続設定を確認するときは、「場所：」から、作成済みの設定名を選択してください。

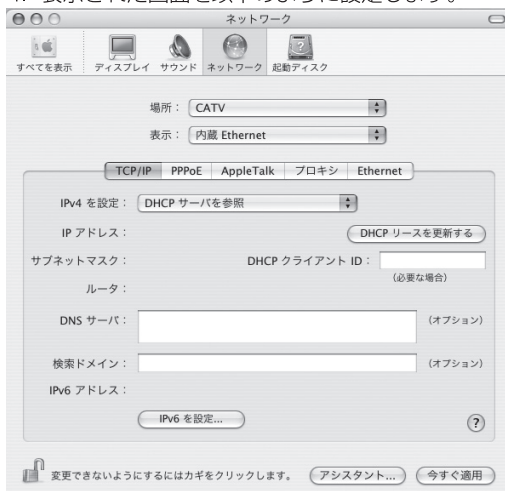
■表示された「新しい場所の名前：」の画面を以下のように設定します。



「新しい場所：」には、任意の名前を入力します。

入力したら、「OK」をクリックして、「ネットワーク」の画面に戻ります。

4. 表示された画面を以下のように設定します。



※IPアドレス、サブネットマスク、ルータ、Ethernetアドレスはお客様によって異なります。

- ・「場所：」では、先ほど入力した名前を選択します。
- ・「表示：」では、「内蔵 Ethernet」を選択します。
- ・「TCP/IP」タブ内
 - 「設定：」では、「DHCPサーバを参照」を選択します。
 - 「IPアドレス：」は、DHCPにて自動的に取得。
 - 「サブネットマスク：」は、DHCPにて自動的に取得。
 - 「ルータ」は、DHCPにて自動的に取得。
 - 「DHCPクライアントID：」は、空欄です。
 - 「Ethernetアドレス：」は、ネットワークアダプタのMacアドレスが表示されます。
 - 「ドメインネームサーバ」、「検索ドメイン」は空欄です。

5. 「PPPoE」タブ内



チェックしません。（設定しません）

6. 「Apple Talk」タブ内



チェックしません。（設定しません）

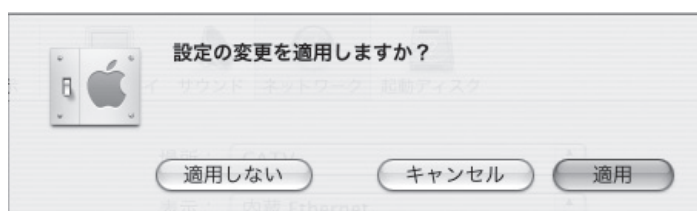
7. 「プロキシ」タブ内



チェックしません。（設定しません）

設定しましたら、左上のクローズボタンをクリックします。

8. 「設定の変更点を保存しますか？」という画面が表示されます。



「保存する」ボタンをクリックします。

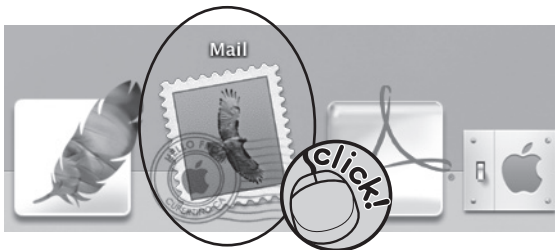
以上でTCP/IPの設定は完了です。

◇MacintoshではOSに付属したセキュリティの設定は存在しませんので、ここではご紹介いたしません。
市販のセキュリティソフトを導入しておく、パソコンのセキュリティ機能が向上します。

2)Mac OS X Mail の設定

※Macintoshには標準のメールソフト「Mail」がインストールされています。ここではこのMailの設定方法をご説明いたします。

1. Dockより「Mail」を起動します。



2. 初めて起動する場合は、「ようこそ Mail へ」の画面が開きます。
「Mail」を起動して設定画面が開かない場合、3)Mailの設定方法より、メールの設定画面を開いてください。

ようこそ Mail へ

 Mail を使用するように設定されたメールアカウントがありません。次の情報を入力して、メールを送受信してください。

氏名：

メールアドレス：

受信用メールサーバ：

アカウントの種類：

ユーザ名：

パスワード：

送信用メールサーバ (SMTP)：

◆以下のように入力します。 ※「登録完了のお知らせ」をご参照ください。

氏名	メールを使用する方のお名前を入力します。（ここに入力された名前が差出人名となります。使用する文字は漢字、ひらがな、数字、英字等が使用できます。）
メールアドレス	当社より郵送した「登録完了のお知らせ」に記載されている、メールアドレスを入力します。
受信用メールサーバ	pop.icntv.ne.jp ※「登録完了のお知らせ」に記載されています。
アカウントの種類 (メールサーバの種類)	「POP」を選択します。
ユーザ名	登録完了のお知らせの「メールアカウント(POPユーザ名)」 ※各ユーザごとに異なります。 例) 01234567
パスワード	登録完了のお知らせの「メールパスワード」を入力します。 ●で表示されますので、間違えないように入力してください。
送信用メールサーバ	mail.icntv.ne.jp ※「登録完了のお知らせ」に記載されています。

全て入力できたら、「OK」をクリックします。

「OK」をクリックすると、入力された「受信用メールサーバ」、「送信用メールサーバ」が確認するために自動的にインターネットに接続されます。「接続に失敗しました」というエラーが表示されたら、入力されたサーバー名に誤りがあるか、インターネットに接続ができていない可能性があります。

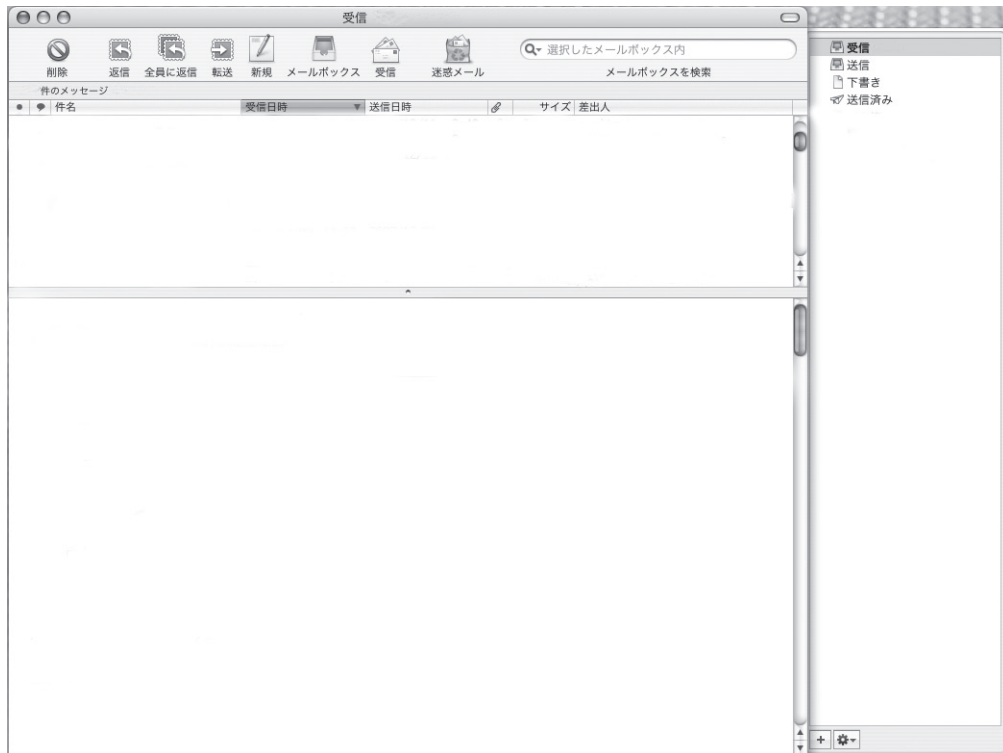
3. 初めて起動した場合、「メールボックスの読み込み」ウィンドウが開きますが、ここでは読み込みを行わないことにします。「いいえ」をクリックします。

4. 初めて起動した場合、「ようこそ」の画面が開きます。ここでは新機能の紹介を読まないことにします。「いいえ」をクリックします。

以上で設定は完了です。

3) Mail の設定確認方法

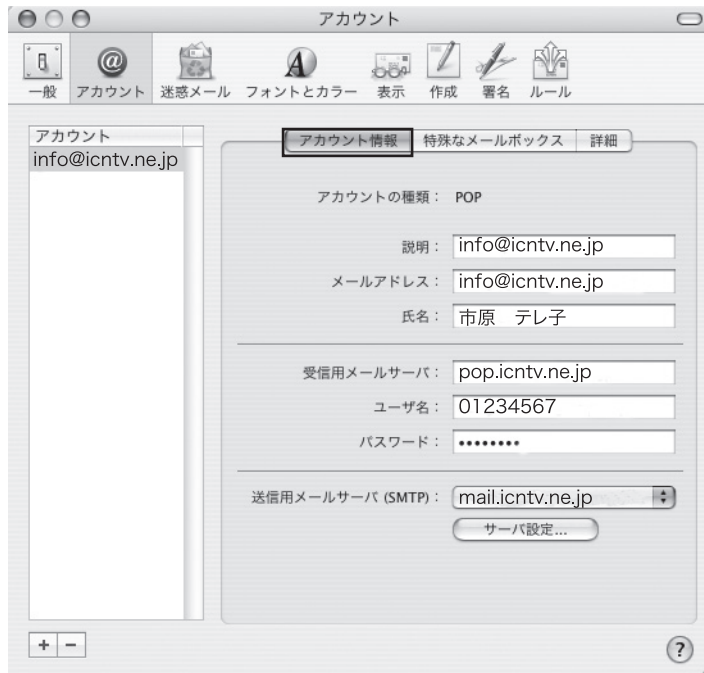
1. 「Mail」 を立ち上げます。



2. メニューバーの「Mail」 → 「環境設定」の順にクリックします。



3. Mail の設定内容が表示されます。「アカウント」をクリックします。



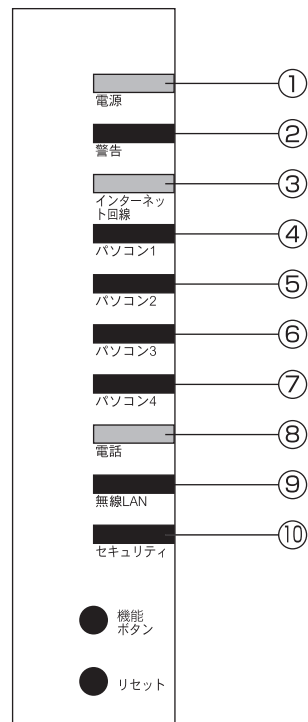
左のアカウント枠に登録されているアカウントが表示されます。アカウントを選択して、「アカウント情報」をクリックします。

尚、ここに表示されているアカウントは任意のもので、こちらの絵のとおりにならない場合もあります。

説明	アカウントの説明です。任意の文字列を入力してもかまいません。
メールアドレス	メールアドレスを入力します。
氏名	お名前を入力します。差出人名になります。
受信用メールサーバ	pop.icntv.ne.jp
ユーザ名	「登録完了のお知らせ」の「メールアカウント (POP3 ユーザ名)」を入力します。
パスワード	「登録完了のお知らせ」の「メールパスワード」を入力します。 ●で表示されます。
送信用メールサーバ	mail.icntv.ne.jp を選択します。このサーバ名が選択肢に無い場合、「サーバ設定」ボタンをクリックして、このサーバ名を入力します。

※「登録完了のお知らせ」をご参照ください。

ひかりdeトークS 電話アダプタ ランプの名称と機能



ランプ名称	表示		状態説明	備考
	色	状態		
①電源	緑	点灯	正常運用状態(電源ON)	
②警告		消灯		
③インターネット回線	緑or橙	点灯	ONUと接続中	※1
④パソコン1		消灯		
⑤パソコン2		消灯		
⑥パソコン3		消灯		
⑦パソコン4		消灯		
⑧電話	緑	点灯		
⑨無線LAN		消灯		
⑩セキュリティ		消灯		

※1…ONUと100Mbpsで接続中の場合には緑で点灯します。
ONUと10Mbpsで接続中の場合には橙で点灯します。

ボタン名称	状態説明
機能転送ボタン	使用しません
リセット	ボタンを押すとWMTAが再起動します。

ひかりdeトーク(S)

ひかりdeトーク(S)の接続音について



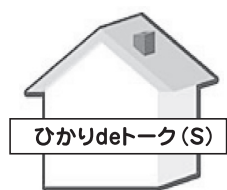
ご利用時の注意

- ひかりdeトーク(S)からひかりdeトーク(S)/BBフォン光/BBフォン/BBコミュニケーター/ケーブルラインへの発信時には「プププ、プププ」という接続音が聞こえます。
- ソフトバンクモバイルへの発信時には「プププ・プププ」と接続音がなりますが、有料通話となりますのでご注意ください。
- ひかりdeトーク(F)への発信は有料通話となりますのでご注意ください。接続音は鳴りません。

ひかりdeトーク(S)同士、相手先がBBフォン光やケーブルラインの場合

無料通話

ひかりdeトーク(S)をご利用のお客様



例:043-xxx-xxxx

接続音
「プププ・プププ」



お電話の相手先



例:03-xxxx-xxxx

相手先がBBフォンの場合

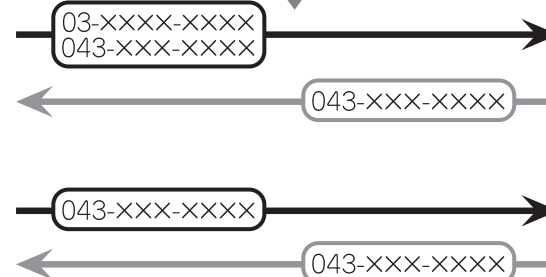
無料通話

ひかりdeトーク(S)をご利用のお客様



例:043-xxx-xxxx

接続音
「プププ・プププ」



お電話の相手先



例:03-xxxx-xxxx
043-xxx-xxxx



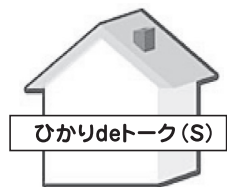
例:043-xxx-xxxx

※相手先が「Yahoo!BB光マンション/ホーム」「Yahoo!BB ADSL 電話加入権不要タイプ」のBBフォンでは050番号への発信のみ無料通話となります。

相手先が一般加入電話の場合

有料通話

ひかりdeトーク(S)をご利用のお客様



例:043-xxx-xxxx

接続音なし



お電話の相手先



例:03-xxxx-xxxx

※ひかりdeトーク(S)からの発信時に「プププ、プププ」という接続音がする通話のうち、通話料金が無料となるのは、相手先がひかりdeトーク(S)/BBフォン光/BBフォン/BBコミュニケーター/ケーブルラインの場合に限ります。無料通話については、相手先と接続音をご確認ください。

ひかりdeトーク(S) 基本サービス

ひかりdeトーク(S)では、次の基本サービスをご利用いただけます。

発信者番号 通知サービス

発信する際、相手先に発信者の電話番号を通知するサービスです。
あらかじめ回線単位に「通知/非通知」設定を行えるほか、発信時に「186/184」をダイヤルすることにより、通話ごとに「通知/非通知」の選択ができます。

番号 ポータビリティ

NTT東日本の一般加入電話・INSネットをご利用の場合、それまで利用していた固定電話番号をそのままご利用いただけます。
※NTTの回線を休止する場合、NTTより回線休止工事費がお客様へ直接請求されます。

緊急通報

110(警察)/118(海上保安)/119(消防)の緊急特番への通話が可能です。
※通話料金はかかりません。

電話帳掲載

NTT番号情報から提供される電話帳(ハローページ/タウンページ)に掲載するサービスです。電話帳の送付サービスは行っておりません。

番号案内 (104)

名前と住所から電話番号をお問合せできる「104」の番号案内サービスです。(有料)

電報 (115)

NTT電報サービスに接続され、電報の案内・申込みができます。(有料)

時報 (117)

現在の正確な時刻を聞けるサービスです。(有料)

災害用伝言 ダイヤル(171)

地震、噴火など大規模な災害が発生した際、被災地域内とその他の地域の方々との間で、安否等の情報を音声により伝達するボイスメールサービスです。
災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になったとき、提供を開始します。(通話料金が必要です。)

天気予報 (177)

電話をかけた地域の天気予報を聞けるサービスです。他の地域の天気予報を聞く場合は、「市外局番+177」をダイヤルすることで、知りたい地域の天気予報を聞くこともできます。(有料)

国際電話のかけ方/通話相手先への番号通知/特定の相手のみ電話をかける事ができない場合

国際電話の かけ方

010 → 国番号 → 相手先番号（※先頭の「0」を除く）

※相手先電話番号（市外局番含む）の最初の数字が「0」の場合は、この「0」を除いておかけください。



ひかりdeトーク(S)では、マイライン、マイラインプラスをご利用いただけませんが、「010」「001」「0041」「0061」のいずれの番号でダイヤルしてもひかりdeトーク(S)での国際電話となりひかりdeトーク(S)の通話料金でご利用いただけます。

通話相手先への 番号通知について

ひかりdeトーク(S)では、通話相手先に番号を「通知」することも「非通知」とすることもできます。なお発信者番号の指定がない場合、初期設定では「通知」となっていますが、通話毎に「184」をダイヤルすることで「非通知」とすることも可能です。



通話相手先に発信者番号を通知する場合は、通話相手先が番号表示サービス（NTT「ナンバーディスプレイ」相当のサービス）の機能を利用されている必要があります。

ひかりdeトーク(S) お申込み時の通知/非通知設定

「発信者番号通知サービス」のお申込みによって、通話相手先への通知/非通知を設定できます。

通話毎の通知/非通知

相手先電話番号の前に「186」（通知）、「184」（非通知）をダイヤルすることで、通話毎に発信者番号の通知/非通知を選択できます。

発信時の 操作	「通話相手先への電話番号通知」で 「通知」を選択している場合	発信時の操作		番号通知
		通常の発信		通知
		「186」を付けて発信		通知
		「184」を付けて発信		非通知
発信時の 操作	「通話相手先への電話番号通知」で 「非通知」を選択している場合	発信時の操作		番号通知
		通常の発信		非通知
		「186」を付けて発信		通知
		「184」を付けて発信		非通知

通話先による 発信者番号通知の可否

通話先相手	番号通知
ひかりdeトーク(S)	可
一般加入電話	可
国内IP電話(050番号)	可

通話先相手	番号通知
携帯電話・PHS	可
国際電話	不可

緊急特番への 発信の際の番号通知

- ひかりdeトーク(S)を非通知設定でご利用の場合「110」（警察）、「118」（海上保安）、「119」（消防）の緊急特番へダイヤルした場合に限り、お客様の住所・氏名・電話番号を相手先の機関へ通知します。※相手先番号の前に「184」（非通知）を付けてダイヤルした場合を除きます。
- 「184」（非通知）を付けて緊急特番へダイヤルした場合、ひかりdeトーク(S)を通知/非通知どちらの設定にされていても、その通話では相手先の機関へお客様の住所・氏名・電話番号は通知されません。ただし、相手先の機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断し、照会の要請がある場合は、これに応じることがあります。

県外など特定の相手のみ 電話をかける事が できない場合は…

県外や携帯電話などに電話をかけた時に、発信できない旨のガイダンスが流れた場合は電話機のACR(αLCR)機能・携帯電話向けとくどくダイヤル等（電話会社自動選択機能）が「オン」になっている可能性があります。これらの機能はひかりdeトーク(S)ではご利用いただけませんので機能を「オフ」にしてください。機能をオフにする方法は電話機の取扱説明書をご確認いただくか、もしくは電話機のメーカーへお問合せください。



ひかりdeトーク(S) 発信可否電話番号一覧

※発信可否…○はお客様から発信できる番号、はお客様から発信できない番号を表します。

番号	発信可否	内容	説明	提供事業者
100	×	通話料金照会	ご利用になった通話料がその場で照会できるサービス(有料)	NTT東
102	×	非常・緊急扱い電話	天災等により非常事態が発生した場合、NTT交換手により優先接続を行うサービス	NTT東(特定事業者のみ)
103	×	電気通信番号案内	—	NTT東(特定事業者のみ)
104	○	NTT番号案内	電話帳登録がある人や、事前に番号案内の申込みがある人の電話番号を案内するサービス(有料)	NTT東
106	×	コレクトコール	料金着払いのオペレータ扱いコレクトコールサービス申込み	NTT東
107	×	列車公衆受付	2004年6月休止	NTT東
108	×	コレクトコール	料金着払いの自動扱いコレクトコールサービス申込み	NTT東
110	○	警察用緊急呼	警察への事件・事故通報の為に急報	—
111	○	開通試験用電話	開通試験用番号	ソフトバンクテレコム
112	×	共同加入者受付	秘話式の共同電話で、共同加入者相互の通話の際に使用	NTT東(利用制限あり)
113	×	NTT故障受付	NTT固定電話の故障受付	NTT東
114	×	話中調べ	通話相手が話中であるか否かを調べるサービス	NTT東
115	○	電報申込み	電報サービスの申込み番号(※料金請求はビック東海から)	NTT東
116	×	新設・移転・各種相談	NTT固定電話の新設・移転・各種相談の受付	NTT東
117	○	時報	現在の時刻を確認できるサービス	—
118	○	海上保安用緊急呼	海上保安庁への事件・事故通報の為に急報	—
119	○	消防通報用緊急呼	火災の緊急通報、救助・救急車の要請の為に急報	—
121	×	クレジット通話サービス	クレジット電話に接続する場合の番号	NTTコミュニケーションズ
122	○	固定優先解除	122の後に本サービスでご利用可能な事業者識別番号を付けてダイヤルした場合 本サービスのご利用となりその通話料金が適用される	ソフトバンクテレコム
123	×	可聴式料金即知番号		
124	×	親展通信(Fネット)	Fネットの親展通信のサービス番号「iFAX」	NTTコミュニケーションズ
125	×	電話会議サービス	複数の地点を同時に接続した電話会議が行えるサービス	NTTコミュニケーションズ
126	×	着信課金(Fネット)	Fネットの着信課金のサービス番号「iFAX」	NTTコミュニケーションズ
127	×	ファクシミリ伝言(Fネット)	Fネットのファクシミリ伝言のサービス番号「iFAX」	NTTコミュニケーションズ
134	×	ダイヤルQ2パスワード	パスワードがなければダイヤルQ2に接続できないようにするサービス受付番号	NTT東
136	×	ナンバーアナウンス	最後にかかってきた相手の電話番号が音声で通知されるサービス	NTT東
141	×	でんわばん／二重番号	二重番号サービスの設定番号	NTT東
142	○	着信転送	ひかりdeトーク(S)の「着信転送サービス」(付加サービス)の設定番号	ソフトバンクテレコム
144	○	着信お断り	ひかりdeトーク(S)の「着信お断りサービス」(付加サービス)の設定番号	ソフトバンクテレコム
145/146	×	キャッチホン2	話中の電話応答サービスの開始・解除設定番号	NTT東
147	×	ボイスワープセレクト	なりわけサービスの設定番号	NTT東
148	○	番号通知リクエスト	ひかりdeトーク(S)の「番号通知リクエストサービス」(付加サービス)の設定番号	ソフトバンクテレコム
149	×	DDX-TP	専用回線への接続番号	NTTコミュニケーションズ
159	×	空いたらお知らせ	相手が話中の場合、相手の通話が終わり次第、通常と異なる呼び出し音で通知するサービス(有料)	NTT東
161～167	×	ファクシミリ通信網等	FAX高速通信・複数同時送信・一般回線で可能なパケット通信等のサービス	NTT東
168	×	ボイスメール	NTTの提供する音声私書箱サービス	NTT東
171	○	災害用伝言ダイヤル	地震等の災害発生時に安否確認・集合場所等の連絡に利用できる伝言サービス	NTTコミュニケーションズ
184	○	発信者番号通知拒否	相手がナンバーディスプレイであり、自分の番号を表示させない場合の設定番号	ソフトバンクテレコム
186	○	発信者番号通知	通話先から発信者番号通知のリクエストがあった場合にダイヤルする設定番号	ソフトバンクテレコム

※1 接続先事業者の設定により繋がらない場合があります

※2 事業者識別番号(国内及び国際)で○に該当する箇所については、該当識別番号をダイヤル後発信した場合、識別番号を削除して通常のひかりdeトーク(S)発の通話となるもの

※3 2009年2月末日作成により、改善等のため予告なく変更することがあります。最新情報につきましては、(株)いちほろコミュニティー・ネットワーク・テレビ(<http://www.icntv.ne.jp/>)にてご確認ください。

ひかりdeトーク(S) 発信可否電話番号一覧

※発信可否…○はお客様から発信できる番号、はお客様から発信できない番号を表します。

番号	発信可否	内容	説明	提供事業者
189	×	ダイヤルQ2	情報提供者が番組(有料情報)を提供し、利用者の情報料を、NTTが情報提供者に代わって回収するサービス	NTT東
010-	○	国際電話	日本国内での国際電話の識別番号	国際電話事業者各社
020-	×	ポケットベル	ポケットベルの割当番号	NTTドコモ
050-	○	IP電話	IP電話の割当番号	IP電話事業者各社
060-	×	UPT	ユニバーサルパーソナル通信。NTTコミュニケーションズの提供する「eコール」の割当番号	NTTコミュニケーションズ
070-	○	PHS	PHSの割当番号	PHS事業者各社
080-090-	○	携帯電話	携帯電話の割当番号	携帯電話事業者各社
0120-	○※1	フリーダイヤル	着信課金サービス	通信事業者各社
0170-	×	伝言ダイヤル	NTTが提供する声の伝言板サービス	NTT東
0180-	○	テレドーム	スポーツやレースの結果速報や実況中継、各種プロモーション、生活関連情報など、さまざまな情報提供に最適な電話を活用した情報提供サービス	NTTコミュニケーションズ
0180-	×	テレゴング	マスメディアで設問に対する選択肢としてPRされたサービス番号へのコール数を、自動的にカウント・集計し、結果を契約者に通知するサービス	NTTコミュニケーションズ
0190-	×	エンジェルライン	お手持ちの通信機能をもつパソコン・ワープロから電話回線を使って番号情報センターへ直接アクセスし、自分で全国の電話番号を調べられるサービス	NTT東
0570-	○※1	ナビダイヤル	発信者が通話料を負担するか、または通話料の一部を契約者が負担するサービス	NTTコミュニケーションズ
0800-	○※1	フリーダイヤル	着信課金サービス	通信事業者各社
0990-	×	ダイヤルQ2	情報提供者が番組(有料情報)を提供し、利用者の情報料を、NTTが情報提供者に代わって回収するサービス	NTT東
001	○※2	事業者識別(国内・国際)	KDDIの事業者識別番号(国内・国際)	KDDI
0031	○※2	事業者識別(国際)	アイピーエスの事業者識別番号(国際)	アイピーエス
0033-0035-	○※2	事業者識別(国際)	NTTコミュニケーションズの事業者識別番号(国際)	NTTコミュニケーションズ
0036-	○※2	事業者識別(国内)	NTT東日本の事業者識別番号(国内)	NTT東
0037-	○	事業者識別(着課金)	フュージョン・コミュニケーションズの事業者識別番号(着信課金)	フュージョンコミュニケーションズ
0038-	○※2	事業者識別(国内・国際)	フュージョン・コミュニケーションズの事業者識別番号(国内・国際)	フュージョンコミュニケーションズ
0041-	○※2	事業者識別(国際)	ソフトバンクテレコムの事業者識別番号(国際)	ソフトバンクテレコム
0042-	○※2	事業者識別(国際)	ソフトバンクテレコムの事業者識別番号(国際第三者課金)	ソフトバンクテレコム
0043-	○※2	事業者識別(国際)	ソフトバンクテレコムの電話識別番号(国際自動クレジット通話)	ソフトバンクテレコム
0044-	○	事業者識別(国際)	ソフトバンクテレコムの事業者識別番号(国際着信課金)	ソフトバンクテレコム
0045-	○※2	事業者識別(国際)	ソフトバンクテレコムの事業者識別番号(国際料金通知)	ソフトバンクテレコム
0046-	×	事業者識別(国際)	ソフトバンクモバイルの事業者識別番号(国際)	ソフトバンクモバイル
0050-	×	事業者識別	UCOM(旧メディア)の事業者識別番号	UCOM(旧メディア)
0051-	×	事業者識別(国際)	KDDIの事業者識別番号(国際)	KDDI
0052-	×	事業者識別(国際)	KDDIの事業者識別番号(国際音声折り返し)	KDDI
0053-	△	事業者識別(着課金)	KDDIの事業者識別番号(着信課金)、番号帯により不可の場合あり	KDDI
0054-	×	事業者識別(国内)	KDDIの事業者識別番号(国内)	KDDI
0055-	×	事業者識別(国際)	KDDIの事業者識別番号(国際クレジットカード通話)	KDDI
0056-	×	事業者識別(国際)	KDDIの事業者識別番号(国際料金問合せ)	KDDI
0057-	×	業務案内	KDDIが提供する国際電話のサポートセンター番号	KDDI
0058-	×	事業者識別(国内)	KDDIの事業者識別番号(国際ファクシミリ)	KDDI
0059-	×	事業者識別	KDDIの事業者識別番号(XB交換機(PB電話機))	KDDI

※1 接続先事業者の設定により繋がらない場合があります

※2 事業者識別番号(国内及び国際)で○に該当する箇所については、該当識別番号をダイヤル後発信した場合、識別番号を削除して通常のひかりdeトーク(S)発の通話となるもの

※3 2009年2月末日作成により、改善等のため予告なく変更することがあります。最新情報につきましては、(株)いちほろコミュニティー・ネットワーク・テレビ(<http://www.icntv.ne.jp/>)にてご確認ください。

ひかりdeトーク(S) 発信可否電話番号一覧

※発信可否…○はお客様から発信できる番号、×はお客様から発信できない番号を表します。

番号	発信可否	内容	説明	提供事業者
0060ー	○※2	事業者識別(国内・国際)	UCOM(旧メディア)の事業者識別番号(国内・国際)	UCOM(旧メディア)
0061ー	×	事業者識別(国際)	ソフトバンクテレコムの事業者識別番号(旧・C&W番号の継承)(国際)	ソフトバンクテレコム
0062ー	×	事業者識別(国際)	ソフトバンクテレコムの識別番号(旧・C&W番号の継承)	ソフトバンクテレコム
0063ー	×	事業者識別	ソフトバンクテレコムの事業者識別番号(旧・C&W番号の継承)(国際第三者課金)	ソフトバンクテレコム
0064ー	×	事業者識別(国際)	ソフトバンクテレコムが提供する国際通話料金の音声折り返し案内サービス(旧・C&Wの継承)	ソフトバンクテレコム
0065ー	×	事業者識別(国際)	ソフトバンクテレコムの識別番号(旧・IDC番号の継承)(国際クレジット通話)	ソフトバンクテレコム
0066ー	○	事業者識別(着課金)	ソフトバンクテレコムの事業者識別番号(国際国内着信課金)	ソフトバンクテレコム
0067ー	×	事業者識別(国際)	ソフトバンクテレコムの事業者識別番号(旧・C&W番号の継承)(国際ファクシミリ)	ソフトバンクテレコム
0070ー	○※2	事業者識別(国内・着課金)	KDDIの事業者識別番号(国内・着信課金)	KDDI
0071ー	○※2	事業者識別(国際)	ベライゾンの事業者識別番号(旧・MCIワールドコム番号の継承)(国際)	ベライゾン
0072ー	×	事業者識別	ベライゾンの事業者識別番号(旧・MCIワールドコム番号の継承)	ベライゾン
0073ー	×	事業者識別(国内)	サークル・アジアの事業者識別番号(国内基本)	サークル・アジア
0074ー	×	事業者識別(国内)	サークル・アジアの事業者識別番号(国内付加)	サークル・アジア
0077ー	○※2	事業者識別(国内・着課金)	KDDIの事業者識別番号(国内・着信課金)	KDDI
0078ー	×	事業者識別(国際)	KDDIの事業者識別番号(国際)	KDDI
0080ー	○※2	事業者識別(国際)	ドイツテレコム・ジャパンの事業者識別番号(国際)	ドイツテレコム・ジャパン
0081ー	△	事業者識別(国内・着課金)	フュージョン・コミュニケーションズ(旧・パワードコム)の事業者識別番号(国内・着信課金)着信課金への発信は不可	フュージョンコミュニケーションズ
0082ー	○※2	事業者識別(国際)	フュージョン・コミュニケーションズ(旧・パワードコム)の事業者識別番号(国際)	フュージョンコミュニケーションズ
0083ー	○※2	事業者識別(国内・国際)	ソフトバンクテレコムの事業者識別番号(旧・平成電電番号の継承)(国内・国際)	ソフトバンクテレコム
0084ー	○※2	事業者識別(国内)	ソフトバンクテレコムの事業者識別番号(旧・平成電電番号の継承)(携帯発固定着の割引サービス)	ソフトバンクテレコム
0086ー	○	事業者識別(国内)	QTNetの事業者識別番号(国内)	QTNet
0088ー	○※2	事業者識別(国内・着課金)	ソフトバンクテレコムの事業者識別番号(国内・着信課金)	ソフトバンクテレコム
0089ー	×	事業者識別(国際)	ドイツテレコム・ジャパンの事業者識別番号(国際電話)	ドイツテレコム・ジャパン
0091ー	×	事業者識別	二種事業者(SBB等)の事業者識別番号	
#****	×	着信短縮	ダイヤル#+4桁の番号をダイヤルすることで 予め接続先契約者が指定した番号へ接続することが出来るサービス	NTT東

※1 接続先事業者の設定により繋がらない場合があります

※2 事業者識別番号(国内及び国際)で○に該当する箇所については、該当識別番号をダイヤル後発信した場合、識別番号を削除して通常のひかりdeトーク(S)発の通話となるもの

※3 2009年2月末日作成により、改善等のため予告なく変更することがあります。最新情報につきましては、(株)いちほろコミュニティー・ネットワーク・テレビ(<http://www.icntv.ne.jp/>)にてご確認ください。

ひかりdeトーク(S) 付加サービス

ひかりdeトーク(S)では、
次の付加サービスをご利用いただけます。



各サービスのお申込みには書面でのお手続きが必要になります。
お申込用紙をご希望の場合は、お問合せください。

番号表示 サービス

(NTT「ナンバー・ディスプレイ」相当のサービス)

かけてきた相手の電話番号(相手先が非通知設定の場合は非通知理由)が、電話機等のディスプレイに表示されるサービスです。
電話を取る前に相手がかかります。「ナンバー・ディスプレイ」対応機器が必要です。

番号通知リクエスト サービス

(NTT「ナンバー・リクエスト」相当のサービス)

電話番号を「通知しない」でかけてきた相手に対し、通信設備上で「メッセージ」にて応答し、着信を規制するサービスです。
※ご利用には番号表示サービスへの加入が必要です。
※通信設備上で「メッセージ」接続の間も発信者には、通話料金がかかります。
※番号通知リクエストサービスのご利用には、番号表示サービスへのお申込みが必要です。

キャッチ電話 サービス

(NTT「キャッチホン」相当のサービス)

通話中に他の人から電話がかかってきた際、割込音(ツー・ブッ・ブッ)でお知らせします。このとき電話機のフックボタンを操作することにより、通話中の相手を一時的に保留にして、後からかかってきた相手と通話できるサービスです。
※保留中の電話には、通話料金がかかります。

着信お断り サービス

(NTT「迷惑電話おことわりサービス」相当のサービス)

迷惑電話を受けた直後、お客様が電話から登録操作を行うことにより、以後、同じ電話番号からかかってきた場合に、通信設備上で「着信お断りメッセージ」に接続し、着信を規制するサービスです。
※通信設備上で「メッセージ」接続の間も、発信者には通話料金がかかります。

着信転送 サービス

(NTT「ボイスワープ」/「転送でんわ」/「着信転送機能」相当のサービス)

無条件転送:かかってきた電話を、お客様があらかじめ指定した電話番号に転送するサービスです。
※転送元から転送先までの通話料金がかかります。



番号通知リクエストサービス、着信転送サービス、着信お断りサービスをご利用いただくためにはお客様側での操作設定が必要です。

付加サービス(1回線毎)

サービス名	サービス内容	月額費用	付加サービス バック1	月額945円 【キャッチ電話・着信お断り・着信転送・ 番号表示・番号通知リクエスト】
キャッチ電話サービス (NTT「キャッチホン」相当)	通話中に他の人から電話がかかってきた際、割込音でお知らせします。 電話機のフックボタンを操作することにより、通話中の相手を一時的に保留にして、後からかかってきた相手と通話することができるサービス	315円	付加サービス バック2	月額662円 【キャッチ電話・着信お断り・着信転送】
着信お断りサービス (NTT「迷惑電話お断りサービス」相当)	迷惑電話を受けた直後、お客様に電話機から登録情報操作を行っていただくことにより、以後、同じ電話番号からかかってきた場合に、着信を規制するサービス	630円	付加サービス バック3	月額840円 【キャッチ電話・着信お断り・番号表示 番号通知リクエスト】
着信転送サービス (NTT「転送でんわ」/「着信転送機能」相当)	かかってきた電話を、契約者があらかじめ指定した電話番号に転送する 無条件転送サービス ※呼び出しをせず、かかってきた電話をそのまま転送致します。	525円	付加サービス バック4	月額557円 【キャッチ電話・着信お断り】
番号表示サービス (NTT「ナンバー・ディスプレイ」相当)	かけてきた相手の電話番号(通知出来ない場合はその理由)が電話機等のディスプレイに表示されるサービス ※ナンバーディスプレイ対応の電話機/FAX機が必要となります。	420円		
番号通知リクエストサービス (NTT「ナンバー・リクエスト」相当)	電話番号を「通知しない」でかけてきた相手に対し、通信設備上で「メッセージ」にて応答し、着信を規制するサービス	210円		

※番号通知リクエストサービスのお申し込みには、番号表示サービスのお申し込みが必要となります。
※ひかりdeトークSご利用開始後に付加サービスえお追加申し込みされる場合は工事費1,050円/1付加サービスごとがかかります。

ひかりdeトーク(S) 付加サービス

番号表示サービス

設定	不要※	申込	必要	月額	420円	税込	工事費	1,050円	税込
----	-----	----	----	----	------	----	-----	--------	----

(NTT「ナンバーディスプレイ」相当のサービス)

※ご利用にはサービス対応の電話機をご利用の上、そのサービス相当の機能を「利用する」に設定してください。

かけてきた相手の電話番号(通知できない場合はその理由)が、電話機等のディスプレイに表示されるサービスです。

電話を取る前に相手の電話番号がわかります。「ナンバーディスプレイ」対応機器が必要です。

通信機器について

- 番号表示サービスをご利用の際には、本サービス(もしくは相当のサービス)対応の電話機などの通信機器の設置とその設定が必要です。
- 本サービスに対応していない電話機をご利用の場合は、本サービス対応のアダプタを必ず設置してください。

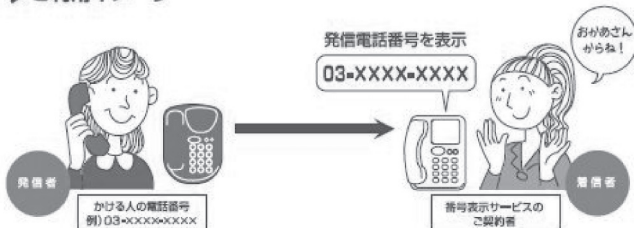
通信機器接続時のご注意

- 本サービスのご利用にはサービス対応の電話機をご利用の上、そのサービス相当の機能を「利用する」に設定してください。
- 本サービス対応の通信機器の設置とその設定がされていない場合、電話番号が表示されなかったり、通話ができない場合があります。
- 本サービスに対応していない通信機器を接続した場合は、短い断続した呼出音の後に通常の呼出音が聞こえますので、通常の呼出音に変わってから、電話に出るようにしてください。通常の呼出音に変わるまでに数秒かかります。
- 本サービスを利用している電話回線に、サービス対応の通信機器と対応していない自動応答端末(留守番電話機器やFAXなど)を同時に接続すると、接続方法によっては、電話番号の表示ができなかったり、途中で電話が切断される場合があります。
- 通信機器の接続携帯や機種により正常に作動しない場合があります。詳しくは各メーカーまたは、販売店にお問合せください。

ご利用にあたってのご注意

- キャッチ電話サービスと併用した場合、通話中にかかってきた番号は表示されません。
- かかってきた電話に出る前に、最初の電話を切っても同様に表示されません。

ご利用イメージ



番号通知リクエストサービス

設定	必要	申込	必要	月額	210円	税込	工事費	1,050円	税込
----	----	----	----	----	------	----	-----	--------	----

(NTT「ナンバー・リクエスト」相当のサービス)

※番号通知リクエストサービスのご利用には、番号表示サービスへのお申込みが必要です。

電話番号を「通知しない」でかけてきた相手に、通信設備上で「メッセージ」にて応答し、着信を規制するサービスです。

(通信設備上で「メッセージ」接続の間も着信者には、通話料金がかかります。)

ご利用にあたってのご注意

- 着信転送サービスと併用した場合、番号通知リクエストサービスによる着信拒否が優先されます。
- キャッチ電話サービスと併用した場合、番号通知リクエストサービスによる着信拒否が優先されます。
- 着信お断りサービスと併用した場合、着信お断りサービスによる着信拒否が優先されます。
- 番号通知サービスのカスタマーコントロールはステミラスプロトコルには対応していません。
- 全てDTMF(PB)信号にて行います。
- ※NTTの「INSボイスワープ」ではステミラスプロトコルを使用しています。

ご利用イメージ



ご契約回線から、サービスの開始/停止を行います。(通話料金はかかりません。)

サービスの開始/停止



1 4 8



1 0

通知リクエストのサービスを開始します。

番号通知リクエストのサービスを停止します。(初期値:停止)



※記載内容は、2009年6月現在の内容となっております。最新情報につきましては、ホームページ(<http://www.icntv.ne.jp/>)にてご確認ください。

ひかりdeトーク(S) 付加サービス

キャッチ電話サービス

設定 不要

申込 必要

月額 315円

税込

工事費

1,050円 税込

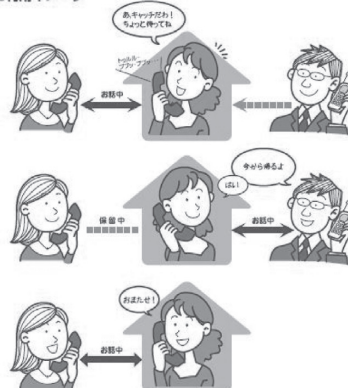
(NTT「キャッチホン」相当のサービス)

通話中に他の人から電話がかかってきた際、割込み音(ツー・ブプッ・ブプッ)でお知らせします。このとき電話機のフックボタンを操作することにより、通話中の相手を一時的に保留にして、後からかかってきた相手と通話できるサービスです。(保留中の電話には、通話料金がかかります。)

ご利用にあたっての ご注意

- 番号表示サービスと併用した場合、通話中にかかってきた電話番号は表示されません。
- 番号通知リクエストサービスと併用した場合、番号通知リクエストサービスによる着信拒否が優先されます。
- 着信お断りサービスと併用した場合、迷惑電話として登録された電話番号からの着信は、着信お断りサービスによる着信拒否が優先されます。
※フックスイッチまたはフックボタンを長く押しすぎると、通話が切れることがあります。

▶ご利用イメージ



着信お断りサービス

設定 必要

申込 必要

月額 630円

税込

工事費

1,050円 税込

(NTT「迷惑電話おことわりサービス」相当のサービス)

迷惑電話を受けた直後、お客様が電話から登録操作を行なうことにより、以後、同じ電話番号からかかってきた場合に、通信設備上で、「着信お断りメッセージ」に接続し、着信を規制するサービスです。(通信設備上で、「メッセージ」接続の間も発信者には、通話料金がかかります。)

ご利用にあたっての ご注意

- 番号通知リクエストサービスと併用した場合、着信お断りサービスによる着信拒否が優先されます。
- 着信転送サービスと併用した場合、転送通話は迷惑電話として登録できません。また、番号登録されている相手からの着信時の転送は行いません。
- 着信お断りサービスにより着信拒否された通話のキャッチ電話サービス着信は行われません。
- キャッチ電話サービスと併せてご利用の場合、最後に着信し通話状態となった通話が登録対象となります。
【ケース1:迷惑電話を受けているときにキャッチ電話サービス着信した場合】
迷惑電話がかかっている最中にキャッチ電話サービス着信した場合は、切替操作をせずに最初の電話をお切りください。キャッチ電話の呼び出し音が鳴らなくなってから、登録操作を行ってください。
【ケース2:キャッチ電話サービス着信した電話が迷惑電話だった場合】
通話中にキャッチ電話サービスで切り替えた通話が迷惑電話だった場合、最初の方との通話が終わった後に一旦受話器をおいてから登録操作を行ってください。
- 着信お断りサービスには効果確認機能はありません。

▶ご利用イメージ



ご契約回線から、サービスの開始/停止を行います。(通話料金はかかりません。)

ご利用 方法



受話器をあげる

1 4 4



音声ガイダンスに従って
操作してください

2
3
9

最後にかかってきた番号から着信を拒否します。

最後に登録された電話番号1つを解除します。

登録されている電話番号をすべて解除します。



受話器を置く

ご注意

- 着信して通話をされた相手先の電話番号以外は登録できません。
- 発信者番号が非通知の場合は、登録できません。
- 登録できる電話番号件数は、30件(最大)です。

※記載内容は、2009年6月現在の内容となっております。最新情報につきましては、ホームページ(<http://www.icntv.ne.jp/>)にてご確認ください。

ひかりdeトーク(S) 付加サービス

着信転送サービス

設定

必要

申込

必要

月額

525円

税込

工事費

1,050円 税込

(NTT「ボイスワープ」/「転送でんわ」/「着信転送機能」相当のサービス)
無条件転送:かかってきた電話を、お客様があらかじめ指定した電話番号に転送するサービスです。

ご利用イメージ



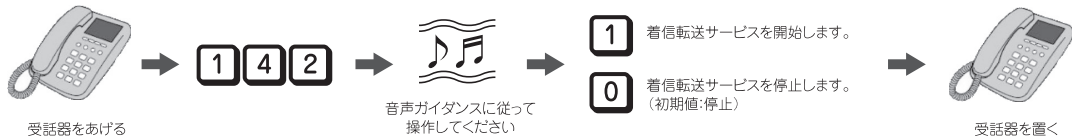
ご利用にあたっての ご注意

- 番号通知リクエストサービスと併用した場合、番号通知リクエストサービスによる着信拒否が優先されます。
- 着信お断りサービスと併用した場合、転送される通話は迷惑電話として登録できません。また、番号登録されている相手からの着信時は転送を行いません。
- 電話をかける方(発信者)が番号通知を行って(転送元へ)発信し、転送先が番号表示可能な電話機をご利用の場合、転送先で表示される電話番号は発信者の番号となります。
- 着信転送サービスでは以下の機能はサポートしていません。
 - 転送方式(無応答時転送・応答時転送・話中時転送) ●転送トーン ●転送元案内 ●転送元番号常時通知 ●転送元電話番号受信サービス
- 着信転送サービスのカスタムコントロールはスティミラスプロトコルには対応していません。
 - 全てDTMF(PB)信号にて行います。
 - ※NTTの「INSボイスワープ」ではスティミラスプロトコルを使用しています。
- 着信転送時の通話料金は「発信者-転送元」間では「発信者」に「転送元-転送先」間では「転送元」である着信転送サービスご契約者にそれぞれ課金されます。

ご利用方法

- ご契約回線から、サービスの開始/停止・転送先の登録・リモートコントロールの設定を行います。(通話料金はかかりません。)

サービスの 開始/停止



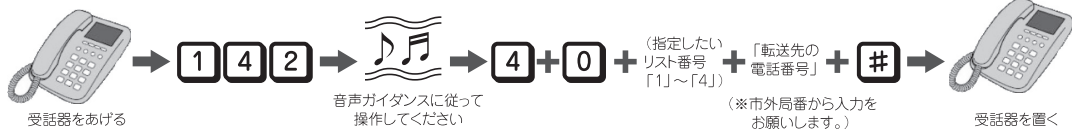
転送先の電話番号を設定します。

転送先の 設定

転送先登録(転送先が1ヶ所の場合)



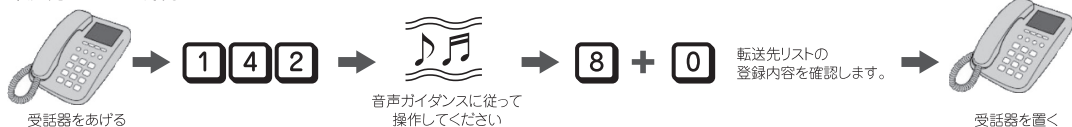
転送先リストの登録(転送先が複数ある場合)



転送先リストからの指定(転送先が複数ある場合)



転送先リストの登録内容確認



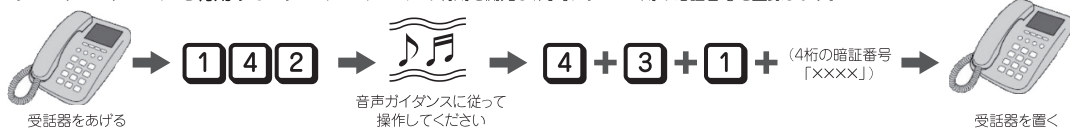
※記載内容は、2009年6月現在の内容となっております。最新情報につきましては、ホームページ(<http://www.icntv.ne.jp/>)にてご確認ください。

リモートコントロールのご利用方法

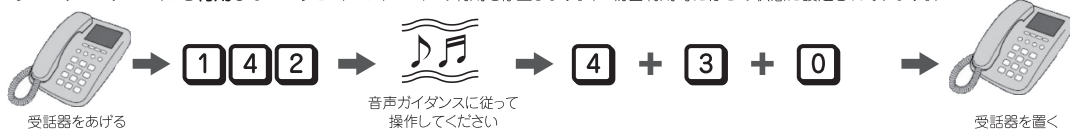
「リモートコントロール」とは、外出先からも設定ができる機能です。
ご利用になるためには事前にご契約回線からの利用開始設定を行ってください。

転送先の設定

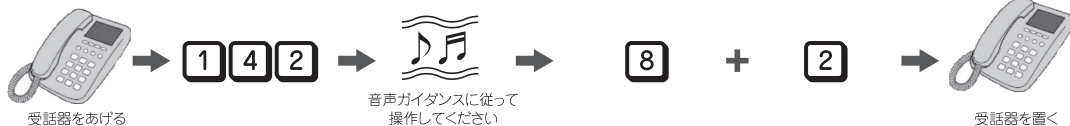
リモートコントロールを利用する リモートコントロールの利用を開始し、同時にリモコン用の暗証番号を登録します。



リモートコントロールを利用しない リモートコントロールの利用を停止します。(※初回利用時にはこの状態に設定されています。)

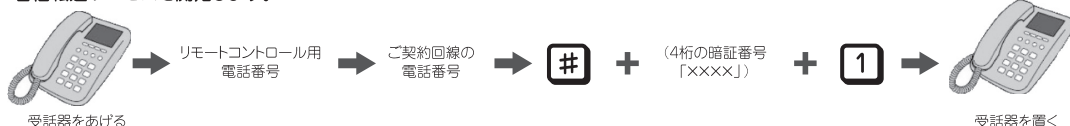


リモートコントロールの設定内容確認 リモートコントロールの設定を確認します。



リモートコントロールによるサービスの開始/停止

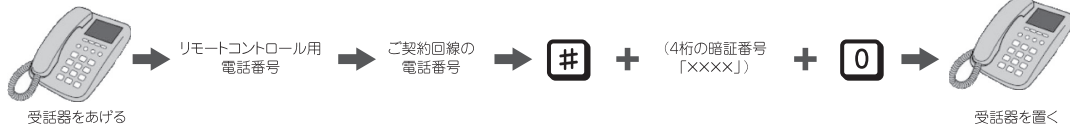
着信転送サービスを開始します。



着信転送サービスを開始します。(転送先リストから選択をする方法)



着信転送サービスを停止します。



ひかりdeトーク(S) 付加サービス

リモートコントロール用電話番号

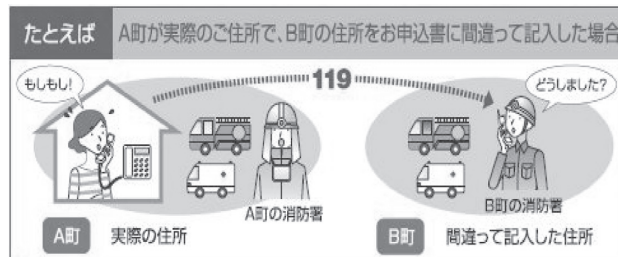
札幌	011-835-0088	青森	017-715-9000	秋田	018-802-0088	盛岡	019-909-0088
仙台	022-208-0088	山形	023-609-9000	福島	024-503-9000	新潟	025-369-0088
長野	026-476-0088	前橋	027-896-9000	宇都宮	028-348-0088	水戸	029-279-0088
東京	03-6880-0088	千葉	043-386-0088	横浜	045-294-0088	浦和	048-741-0088
甲府	055-209-0088	静岡	054-689-0088	名古屋	052-885-0088	津	059-991-0088
岐阜	058-208-0088	大阪	06-7708-0088	和歌山	073-407-0088	奈良	0742-87-0088
京都	075-285-0088	金沢	076-299-0088	富山	076-416-0088	大津	077-509-0088
福井	0776-92-0088	神戸	078-584-0088	広島	082-575-0088	松江	0852-40-9000
鳥取	0857-88-9000	岡山	086-289-0088	高松	087-810-0088	徳島	088-618-0088
高知	088-819-0088	松山	089-950-0088	福岡	092-287-0088	佐賀	0952-48-0088
長崎	095-873-0088	熊本	096-240-0088	大分	097-509-0088	宮崎	0985-45-0088
鹿児島	099-807-0088	沖縄	098-914-0088				

ひかりdeトーク(S) ご利用時の注意事項

① ひかりdeトーク(S)ご利用の住所について

「ご利用場所情報」は、緊急通報受理機関「警察(110)、海上保安(118)、消防(119)」へ正しく通知するためにとても大事な情報です。ひかりdeトーク(S)お申込書にご記入いただいた「ご利用場所」が間違っていると、緊急通報受理機関からの迅速な対応ができない場合がありますので、ご注意ください。

※「ご利用場所」が変更になった場合は、ご連絡ください。



② ひかりdeトーク(S)でご利用いただけないサービスについて

ひかりdeトーク(S)では下記のサービスがご利用いただけません。各項目についてご確認ください。

1	「フリーダイヤル」または「フリーアクセス」はご利用いただけません。 ひかりdeトーク(S)では、「0120」や「0800」で始まる「フリーダイヤル」等の着信課金サービス用電話番号としては、ご利用いただけません。 ※「フリーダイヤル」または「フリーアクセス」とは？ 契約されている電話番号のほかに、「0120」や「0800」等で始まる電話番号を契約し、外部から通話料金無料(受信者払い)の電話を受け付けるサービスです。
2	「ダイヤルインサービス」はご利用いただけません。 ※「ダイヤルインサービス」とは？ 契約されている電話番号のほかに、複数の電話番号を利用できるサービスです。
3	「i・ナンバー」はご利用いただけません。 ※「i・ナンバー」とは？ 現在使用中の電話番号(主電話番号)を含め、最大3つ(2つも可)の電話番号が利用できるISDN専用のサービスです。
4	「二重番号サービス」はご利用いただけません。 ※「二重番号サービス」とは？ ご契約されている電話番号のほかに、もうひとつの電話番号を利用できるサービスです。
5	「代表取扱サービス」はご利用いただけません。 ※「代表取扱サービス」とは？ 同一拠点に設置される複数の契約回線でグループ(代表群)を構成し、あらかじめ決められた代表(親)番号に着信があった場合、事前に契約した選択方式に従い、代表群から空いている回線を選んで着信できるサービスです。
6	以下のサービスは、ひかりdeトーク(S)ではご利用いただけません。 ● ピンク電話(簡易公衆電話)、共同電話 ● 110番、119番直接通報装置 ● 高齢者向け緊急通報システム ● ガス会社等の遠隔監視サービス ● 「0035」で始まる電話番号へ発信することで利用できるサービス ※これらの番号はインターネット接続のダイヤルアップアクセスポイント等に設定されている場合があります。 ● 警備会社等のセキュリティサービス ● 「ボイスワープセレクト」 ● 「ノーリングング」通信サービス ● その他 「0180」番号を利用して提供する「テレゴン」／「0570」で始まる課金分割サービス*／ダイヤルQ2／Lモード／「オフトーク通信」／でんわばん／電話会議／メッセージイン等 ※「0570」で始まる番号は、衛星放送(CS放送、BS放送の双方向データサービスなど)や有料オンラインサービス(通信カラオケサービス、(公営競技の在宅投票システムなど)等で利用されている場合があります。

③ NTTの加入電話等サービスの利用休止について

- ひかりdeトーク(S)ご利用に際し、現在ご利用中のNTTの加入電話等サービスの利用休止(ライトプランの場合は契約解除を含む)につきましては、(株)いちほろコミュニティ・ネットワーク・テレビがお客様に代わってNTTへの申込手続きをさせていただきます。
 - 利用休止(ライトプランの場合は契約解除を除く。以下同じ)の工事完了後、NTTから「利用休止のお知らせ」が届きますので、内容をご確認ください。
 - NTTの加入電話等サービスの利用休止のお取扱いは、5年間となっており、それを経過しても利用休止の継続または再取り付けのお申し出がない場合は、さらに5年間を経過した時点でNTTの加入電話等サービス契約解除されたものとして取扱われますが、利用休止継続の手続きをすることで、5年単位で利用休止期間を更新することができます。
 - 利用休止継続の手続き等につきましては、NTTから送付される「利用休止のお知らせ」でご確認ください。
 - ひかりdeトーク(S)を解約し、利用休止中のNTT加入電話を復活する場合は、NTTに対し、その旨お申し出いただき、番号ポータビリティ切り戻し工事を行った後にひかりdeトーク(S)サービスの解除を行います。なお、ひかりdeトーク(S)の解約に係る費用の他にNTTへの工事費の支払いが別途必要となります。
- *ひかりdeトーク(S)サービスへの切替後は、116番をダイヤルすると、ソフトバンクテレコム株式会社のお問合せ窓口へつながります。NTTの116番へは0800-2000-116へおかけいただくか携帯電話やNTTの公衆電話等からおかけください。

ひかりdeトーク(S) ご利用時の注意事項

④ 電話帳掲載と104番号案内について

NTT等で利用していた電話番号を引き続きご利用されるお客様は現在の電話帳掲載情報がそのまま引き継がれます。

ひかりdeトーク(S)のご契約と同時に新たに電話番号を取得されるお客様で、電話帳掲載と104番号案内をご希望の場合は、申込書へ記入された内容に基づきお手続きをいたします。後日、ソフトバンクテレコム株式会社の電話帳申請センターより確認のお電話があります。予めご了承ください。

ひかりdeトーク(S)にご契約後は、NTTハローページ・タウンページは送付されません。送付をご希望の場合は、お客様よりタウンページセンター(0120-506-309)へお問合せください。尚、ハローページ・タウンページの送付は有料となります。予めご了承ください。料金や詳細につきましてはタウンページセンター(0120-506-309)へお問合せください。

サービスご利用中の電話帳掲載内容の変更はソフトバンクテレコム株式会社の電話帳申請センター(0088-225-838 通話料無料/平日9:00~18:00)までお問い合わせください。(※土曜・日曜・祝祭日・年末年始を除く)

お申込みいただいた電話番号の電話帳掲載情報・104番号案内情報については、NTT以外の番号案内事業者、電話帳発行事業者にもNTTより提供されています。一部、NTT以外の電話帳発行事業者から発行される電話帳に掲載されない場合があります。

⑤ 障害(停電、自然災害など)について

- 障害(停電、自然災害など)、幹線や機器のメンテナンス時にはひかりdeトーク(S)はご利用いただけません。携帯電話もしくは公衆電話等をご利用ください。停電復旧後もひかりdeトーク(S)がご利用いただけない場合は、P.1のひかりdeトーク(S)機器の接続方法とインターネット接続できない場合をご確認ください。

⑥ 解約や引越しに関するご注意について

- 解約や引越しの場合は(株)いちほらコミュニティー・ネットワークテレビまでご連絡ください。
- ひかりdeトーク(S)の解約や引越しにより不要となったWMTAは(株)いちほらコミュニティー・ネットワークテレビより回収にお伺いいたします。
- ひかりdeネットを解約された場合は、ひかりdeトーク(S)は、ご利用いただけません。
- ひかりdeトーク(S)を解約後、同電話番号をNTTなど、他の事業者でご利用になる場合のお手続きはお客様にて行っていただきます。また、その際に発生する費用はお客様負担となります。予めご了承ください。
- ひかりdeトーク(S)をご利用中のお客様が引越先でも継続利用をご希望される場合、同電話番号移転の可否および条件により、お手続きが異なります。
 - ※ひかりdeトーク(S)で新規に電話番号を取得した場合は同電話番号の移転はできません。移転先で新たに新規電話番号を取得していただく必要があります。
 - ※NTT等の他事業者回線より電話番号を移行(番号ポータビリティ[以下番ポ])して、ひかりdeトーク(S)をご利用の場合にはNTT東日本での同電話番号移転可能エリアに基づき移転することが可能ですが、移転時のお手続き手順をよくご確認いただきお申込みください。
 - また手続きには諸費用が発生いたします。諸費用はお客様負担となります。予めご了承ください。

【移転の場合のお手続き手順】

※条件1…NTT等(他事業者回線)より番ポして電話番号を継続利用のお客様

※条件2…NTT東日本の同電話番号移転可能エリアに含まれる場合

(NTT東日本の同電話番号移転可能エリアに含まれない場合は同電話番号での移転はお申込みいただけません。)

- ①ひかりdeトーク(S)解約手続き ②NTT東日本へ復活手続き(お客様より申請が必要)
③NTT東日本へ移転手続き(お客様より申請が必要) ④ひかりdeトーク(S)お申込み(移転先住所でお申込み)

⑦ その他のご注意について

- ひかりdeトーク(S)は「弊社IP電話サービス契約約款」に基づきサービスを提供いたします。いちほらコミュニティー・ネットワーク・テレビ ひかりdeトーク(S) ホームページ URL <http://www.icntv.ne.jp/> でご確認頂くか、(株)いちほらコミュニティー・ネットワーク・テレビまでお問合せください。
- ひかりdeトーク(S)の利用料金は、弊社から請求させていただきます。
- ひかりdeトーク(S)の通話明細はWEB明細でご確認ください。ユーザーIDとパスワードは開通後にお客様のご契約住所にご郵送いたします。
URL <http://webmeisai.jp/cable/>
- ひかりdeトーク(S)へ申込みされた回線(番号)が他社の定額料金のかかる割引サービスにご加入していた場合、サービス提供の会社から定額料金のみ請求される恐れがあります。ご利用されていた場合は、ひかりdeトーク(S)のお申込みとは別に、ソフトバンクテレコム株式会社および他社へご利用中の割引サービス解約の旨、ご連絡ください。
- 他社事業者識別番号(0077等)をダイヤルした場合でも、ひかりdeトーク(S)の通話となり、ひかりdeトーク(S)の通話料金が適用されます。(※着信課金サービス等を除く。)※以下の着信課金サービスへの発信が可能です。
・ソフトバンクテレコム株式会社・NTTコミュニケーションズ株式会社・KDDI株式会社・フュージョン・コミュニケーションズ株式会社・株式会社メディアの提供する着信課金サービス(0120-0800のみ)
- マイラインおよびマイラインプラスはご利用いただけません。また、ひかりdeトーク(S)は122(固定優先接続解除)のダイヤル有無に関わらず、ひかりdeトーク(S)の通話となり、ひかりdeトーク(S)の通話料金が適用されます。
- ひかりdeトーク(S)を非通知設定でご利用の場合「110」(警察)、「118」(海上保安)、「119」(消防)の緊急特番へダイヤルした場合に限り、お客様の住所・氏名・電話番号を相手先の機関へ通知します。
 - ※相手先番号の前に「184」(非通知)を付けてダイヤルした場合を除きます。
 - 「184」(非通知)を付けて緊急特番へダイヤルした場合、ひかりdeトーク(S)を通知/非通知どちらの設定にされていても、その通話では相手先の機関へお客様の住所・氏名・電話番号は通知されません。ただし、相手先の機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断し、弊社に照会の要請がある場合は、これに応じることがあります。

(<http://www.icntv.ne.jp/>)

ひかり de ネット インターネットサービス 重要事項

サービス内容について

- インターネット設備は複数のお客さままで共有するため回線の状況により通信速度が変動する場合があります。**ひかり de ネット**インターネットサービスは、ベストエフォート型のサービスであり、必ずしも最大速度での通信を保証するものではありません。

最低利用期間

- サービス開始から6ヶ月です。
 - 最低利用期間内に解約をされる場合は、違約金(最大6ヶ月の月額料金)が発生します。
- ※キャンペーン適用の場合は、キャンペーン適用条件により異なる場合があります。

個人情報の利用目的について

- 1.当社は、個人情報を別途当社ホームページ上に掲示する「個人情報保護ポリシー」に基づき、適切に取り扱います。
- 2.当社は、個人情報を、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。
- ①インターネット接続サービス、音声サービス、放送サービス、無線サービス、VODサービス、セキュリティサービス、ポスティングサービス、その他インターネットを通じた通信・情報サービス、NHK受信料に関する契約・収納、広告・小売業のサービスの各サービスを提供すること及び当該各サービスを維持管理すること(当該各サービスのみならず、当該各サービスに関する契約を維持管理することを含みます。)ならびにお客さまからのお問合せに対応すること。
- ②お客さまに有益と思われる当社、TOKAIグループ各社、及び提携先のサービス、商品等(ガス業、通信業、保険業、設備工事業、不動産取引業、警備業、結婚式場業、宿泊業等)の情報をメール、郵便等により送付し、または電話、訪問等によりご案内すること。なお、お客さまから、当社が別途定める方法により、当該ご案内に利用することに対する中止のお申し出をいただいた場合には、当社は、これらの取り扱いを中止いたします。
- ③その他同意を得た範囲で利用すること。
- 3.当社はお客さまとの契約が解除された後も、第2項の利用目的の実施に必要な範囲内で個人情報を利用する場合があります。
- 4.当社は個人情報を第2項の利用目的の実施に必要な範囲で個人情報を回線事業者、VoIP事業者、販売取次事業者、コンテンツ事業者、宅内工事業者、サポート事業者等の委託先、提携先等に提供する場合があります。
- 5.法的な義務に伴う開示要求へ対応する場合、及び警察等公的捜査機関より捜査協力の要請があり、当社が妥当と判断した場合には、必要な範囲で個人情報を開示、提供する場合があります。
- 6.当社は、お客さまご利用にかかるサービス及び提供サービスに関し、当社がお客さまに対して有する債権又は当社がお客さまに対して負担している債務の特定、支払い及び回数に必要な範囲でクレジットカード会社、金融機関、取引先等、弁護士等への専門職及びその他当社が必要と認める者に個人情報を開示、提供することがあります。
- 7.当社は、個人情報の属性の集計、分析を行い、個人が識別・特定できないように加工したもの(以下、「統計資料」といいます。)を作成し、新規サービス開発等の業務遂行のために利用、処理する事があります。
- 8.第2項に記載した利用目的を変更する場合、変更された利用目的につきましては電子メールによる送信、当社ホームページにおける公表その他当社が適当であると判断する方法によりお客さまにご連絡いたします。なお、これらの方法によりお客さまにご連絡した後1週間経過した時点で、お客さまは当該変更後の利用目的に同意されたものとみなします。

契約約款について

契約約款は弊社ホームページ上でご確認ください。
ホームページURL <http://www.icntv.ne.jp/>

【光ファイバーケーブルお取扱に関するご注意】

お客さま宅内に設置しております光ファイバーケーブルは、折り曲げ等に非常に弱くなっております。取り扱いには十分ご注意ください。
尚、不注意で切断・折り曲げ等で交換が必要な場合はお客さま負担となります。(税込み10,500円)

お問合せ先

株式会社 いちはらコミュニティ・ネットワーク・テレビ

〒290-0054 市原市五井中央東2丁目23番地18

■お問い合わせ先について

▼接続設定に関するお問い合わせは…

あいChan-NETサポートセンター：0436-24-9407
月～金（祝祭日を除く）10:00～12:00、13:00～17:00

▼料金、請求に関するお問い合わせは…

いはらケーブルテレビ事務局：0436-24-0009
月～金（祝祭日を除く）10:00～12:00、13:00～17:00

 0120241991 (受付時間9:00～17:30)

F A X : 0436-24-0003

E-mail : info@icntv.ne.jp



1. 本書の内容の一部または全部を転載することは禁止されています。
2. 本書の内容は予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容によって生じた問題等については、弊社はいかなる責任をも負いかねますので、予めご了承ください。

株式会社いちはらコミュニティー・ネットワーク・テレビ
<http://www.icntv.ne.jp/>

